

2024 年度えりく事業者アンケート (2025 年 2-3 月実施)

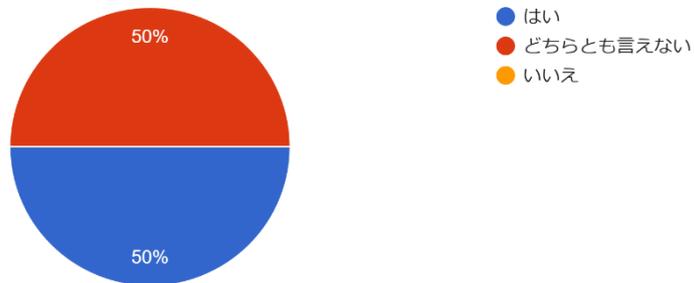
Q1 利用定員が利用スペースとの関係で適切と言えるか。またはスペースに応じて配慮しているか。



Q2 子どもの人数に対して職員の配置数は適切であるか。



Q3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮がなされているか。あるいは移動や活動がスムーズに行くような配慮がなされているか。



Q4 活動空間は清潔で、心地よく過ごせるようになっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか。



Q5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。



Q1～Q5で「どちらとも言えない」「いいえ」があった場合、改善のため工夫していること、今後工夫すべきことはあるか。また「はい」だとしたらどのようなことを工夫しているか。

(3件の回答)

・Q1～5：スペースの広い事業所ではないが、子どもたちが安全に楽しく活動ができるように、職員と子どもたちで対話したり、その都度環境調整をしたりして、適切な空間づくりを行っている。

・階段が急なため、小学生は上り下りの際にスタッフと一緒にいくことをして、安全管理をしているが、転落防止などの対策はあってもよさそう。

・事業所内に階段があるが、小学生以下や危険を感じる児童生徒の場合は、スタッフが一緒に移動することをルールとしている。

Q6 業務や支援の質をより良くするための、目標設定と振り返りに広く職員が参画しているか。



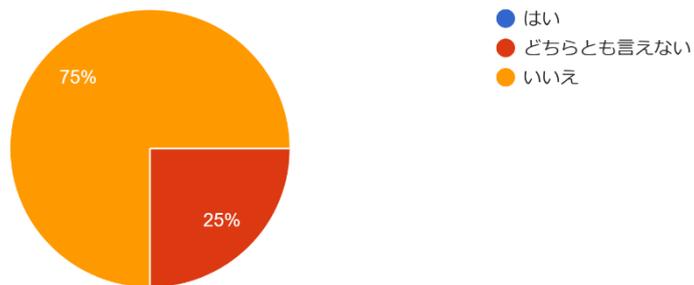
Q7 保護者ニーズを聞いたり、アンケート等を実施したりすることで、保護者の意向を把握し、業務の質をよりよくしていく取り組みをしているか。



Q8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に繋げているか。



Q9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。



Q10 職員の資質向上を行うために、研修等の機会を確保しているか。



Q6～Q10で「どちらとも言えない」「いいえ」があった場合、改善のため工夫していること、今後工夫すべきことはあるか。

また「はい」だとしたらどのようなことを工夫しているか。（4件の回答）

・Q6、8：常勤、非常勤の立場に関係なく、職員が会議や対話の場に参画できる環境を整えることで、職員一人一人の価値観や意見が業務に活かされるように努めてきた。Q7：普段から保護者の声を聞き取り、保護者会やアンケートも実施することで、意向を把握して業務や支援に繋げることを行ってきた。Q9：外部の法人にコンサルタントを依頼し、法人や事業所の現状や課題に焦点を当てた研修や対話の場を作り、より良い働き方に繋がるようにしている。Q10：法人全体に研修情報の発信を行ったり、職員のニーズを聴き取ったり、他事業所と合同で研修を実施したりするなどして、広く研修の機会を確保している。

・職員同士の対話の場を設けることで、常勤非常勤が対等に話せる関係づくりや支援の方向性の確認・相談等を行っている。

・対話の機会や研修の案内などがたくさんあり、職員が自分のスキルを磨きやすい環境になっている。

・定期的に保護者会を実施したり、保護者アンケートを作成したりすることで、保護者ニーズを把握するようにしている。

Q11 適切に支援プログラムの作成、公表がされているか。



Q12 個々の子どもに対してアセスメントとそのための会議を行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成し、支援につなげているか。



Q13 個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解のもとで、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。



Q14 個別支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。



Q11～Q14で「どちらとも言えない」「いいえ」があった場合、改善のため工夫していること、今後工夫すべきことはあるか。

また「はい」だとしたらどのようなことを工夫しているか。(3件の回答)

・Q11～14：常勤、非常勤、自発管の立場に関係なく、支援者会議や振り返りの時間などを通して日々の支援方針や計画内容の検討をし、チームで一貫した支援に取り組めるように努めている。

・支援者会議には参加可能な職員が多く入ることで、支援の方向性を確認し、一貫した支援が行えるようにしている。

・日々の振り返りや支援者会議などで、子どもたちの様子や支援について話す機会を設けている。

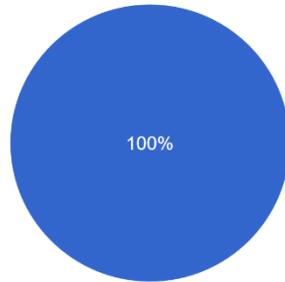
Q15 子どもの支援に結びつけるために標準化されたフォーマルなアセスメントツールを使用しているか。また、日々の行動観察なども含む、インフォーマルなアセスメントを職員間で共有し、支援につなげているか。



Q16 個別支援計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の狙い及び支援内容も含めながら、子ども支援に必要な項目が適切に設定され、その上で具体的な支援内容が設定されているか。

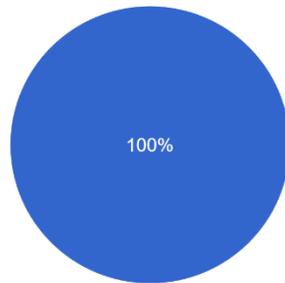


Q17 支援内容の立案をチームで行っているか。



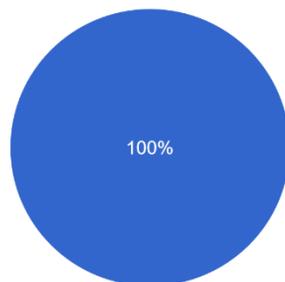
- はい
- どちらとも言えない
- いいえ

Q18 支援内容が固定化しないように工夫しているか。



- はい
- どちらとも言えない
- いいえ

Q19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて個別支援計画を作成し、支援が行われているか。



- はい
- どちらとも言えない
- いいえ

Q15～Q19 で「どちらとも言えない」「いいえ」があった場合、改善のため工夫していること、今後工夫すべきことはあるか。

また「はい」だとしたらどのようなことを工夫しているか。(3件の回答)

・Q15：発達検査の記録の活用をしたり、日々の振り返りや共有の時間を通して、子ども一人ひとりの現状にあった支援方針や提供サービスの内容を検討したりして、チームで適切な支援が行えるようにしている。

・支援者会議に多くの職員が参加することで、本人にとって必要な支援についてチームで考えるようにしている。

・構造化した支援者会議により、スムーズに子どもたちそれぞれのニーズを考えて計画を作成している。

Q20 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。



Q21 支援終了後には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。



Q22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。



Q23 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか。



Q24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。



Q25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。



Q20～Q25で「どちらとも言えない」「いいえ」があった場合、改善のため工夫していること、今後工夫すべきことはあるか。また「はい」だとしたらどのようなことを工夫しているか。(4件の回答)

- ・Q20～24：毎日、支援前の打ち合わせと支援後の振り返りを行っている。また、支援時の記録と振り返りの記録を残し、支援内容の検討や引継ぎが適切に行われるようにしている。日々の振り返りや支援者会議などの中で、モニタリングや支援計画の見直しに繋がる対話を意識している。Q25：職員間で「子どもたちの可能性を奪わない」という共通認識をはかり、自己決定を応援する姿勢でかかわることを大事にしている。具体的な支援としては、自己決定に必要な情報や選択肢の提示、小さな自己決定による成功体験の積み上げ、フィードバックによる決めたことへの自信の実感などを狙いとした対話などを行っている。
- ・子どもたちとの対話の時間や考える時間を大事にし、本人が納得して選択しながら自己決定することができるような支援を大事にしている。
- ・非常勤に対しても、支援に入る前に情報共有を行っている。また、振り返りでは全員が話しやすいように工夫している。
- ・支援を始める前にスタッフ間で流れや支援の共有を行い、支援終了後には振り返りを行っている。

Q26 相談支援事業所とのサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解したものが参画しているか。



Q27 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。

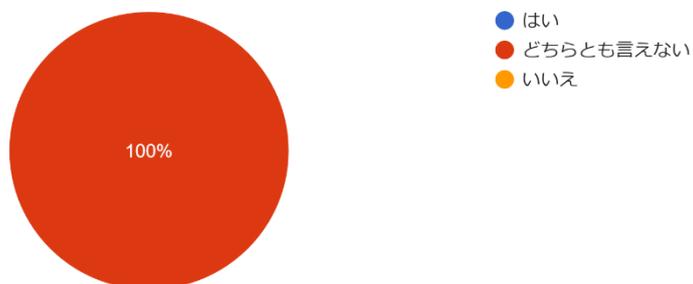


Q28 学校との情報共有や連携等を適切に行っているか。



Q29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有や相互理解に努めているか。

.....



Q30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所に移行する場合、それまでの支援内容等の情報共

.....



Q31 児童発達支援センターや発達障害者支援センター、他の放課後等デイサービスなどと連携し、必要に応じて助言や研修を受ける機会を設けているか。

.....



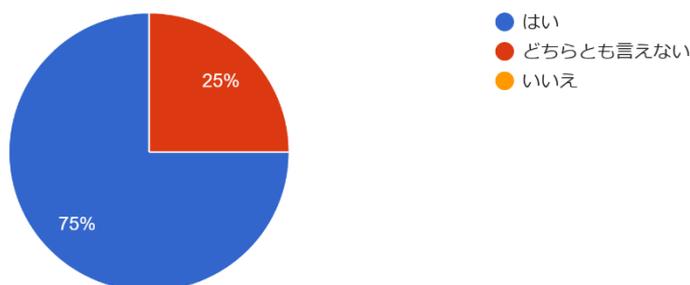
Q26～Q31で「どちらとも言えない」「いいえ」があった場合、改善のため工夫していること、今後工夫すべきことはあるか。また「はい」だとしたらどのようなことを工夫しているか。(3件の回答)

・Q26、27、28、30：本人や保護者の意向を聴き取り、チームでの支援者会議や保護者との面談を行いながら、必要とされる関係機関との連携を行っている。一貫した支援が関係機関で行われるよう、積極的に連携の機会を作ったり、参加したりしている。Q29：今期は連携を必要とする機会がなかったため、実施していない。必要に応じて連携を行いたい。Q31：連携や研修などの機会を作り、情報共有や支援についての相談を行えるようにしている。

・保護者や子どもたちの要望により、学校に通いやすいよう連携を適宜図っている。

・今年度は就学前の機関連携を行っていないが、保護者や機関からのニーズがある場合には積極的に連携を図ることができる体制を整えている。

Q32 放課後児童クラブ等の地域資源を活用し、地域の子どもと交流・活動する機会を作っているか。



Q33 地域自立支援協議会に積極的に参加しているか。



Q34 日頃からこどもの状況を伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。



Q35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対しての家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。



Q32～Q35で「どちらとも言えない」「いいえ」があった場合、改善のため工夫していること、今後工夫すべきことはあるか。また「はい」だとしたらどのようなことを工夫しているか。（4件の回答）

・ Q32：積極的な取り組みは行っていないが、イベントなどで地域資源を活用することで、交流の機会を作ることができた。 Q34、35：保護者会の実施や、研修などの学びの機会の提供を意識的に行っている。職員間、保護者と職員の間で、情報共有を行うことで、子どもの状況や支援方針の共通認識をはかっている。

- ・ 保護者とは、送迎時に子どもの様子の共有・相談の時間をとっている。
- ・ 保護者会を実施し、当事業所に通う保護者たちが交流する機会を作っている。
- ・ 法人内で子ども食堂を行っており、地域の方々と交流ができる機会を作っている。

Q36 保護者に対し、運営規定、支援の内容、利用者負担について丁寧な説明を行っているか。



Q37 個別支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮などの観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。



Q38 個別支援計画を示しながら、保護者への支援内容の説明と同意を得ているか。



Q39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。

Q39

家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。

4件の回答



Q40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等によって、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。



Q36～Q40で「どちらとも言えない」「いいえ」があった場合、改善のため工夫していること、今後工夫すべきことはあるか。また「はい」だとしたらどのようなことを工夫しているか。（4件の回答）

・Q36～40：日々の業務の中で、本人や保護者の意向を聴き取ることを大事にしており、それを計画や具体的な支援に活かしている。また、その内容について、本人や保護者に伝えて、合意を得るようにしている。必要に応じて、保護者面談や相談の時間を設け、子育ての不安や困り感に寄り添い、解決に向けた相談役として機能するよう努めている。

・個別支援計画の説明時に必ず面談を行うことで、保護者のお話を聞く機会を設けている。その他、送迎時等のお話で必要と感じた際や、保護者からの要望があった時に面談を行うようにしている。

・保護者会を設定し、保護者同士が交流できる機会を設けている。

・保護者との相談関係を形成することを大事にしており、相談があった場合には積極的に面談を設定し助言を行うなどのサポートを行っている。

Q41 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。



Q42 定期的に通信等を発行することや、HP や SNS 等を活用することにより、活動概要や活動予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。

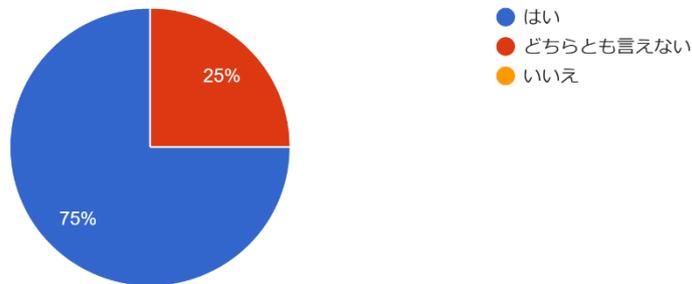


Q44 障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。

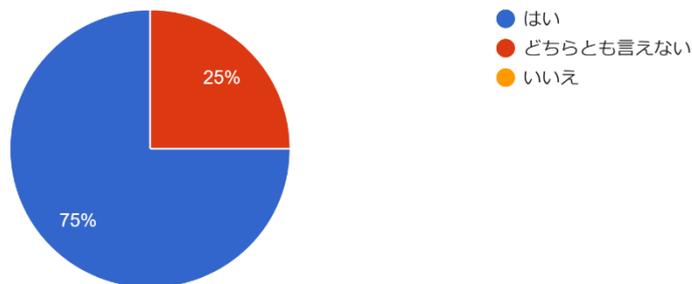
4件の回答



Q44 障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。
4件の回答



Q45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営をしているか。



Q41～Q45で「どちらとも言えない」「いいえ」があった場合、改善のため工夫していること、今後工夫すべきことはあるか。また「はい」だとしたらどのようなことを工夫しているか。(4件の回答)

- ・Q45：招待するまでの積極的な取り組みはしていないが、活動に関心のある人の見学やインターン生の受け入れなど、開かれた事業運営を行っている。
- ・公式LINEを活用し、定期的な「えりく通信」の発信や、イベント等のお知らせ等を行うことで、子どもたちの様子を伝えたり、活動報告等を行っている。
- ・定期的に通信を発行し、当事業所で行ったイベントなどの情報を伝えている。
- ・2か月に一度ほど「えりく通信」を発行し、定期的に当事業所の情報を提供できるよう工夫している。

Q46 事故防止・緊急時対応・防犯・感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知し、訓練や研修等を行なっているか。



Q47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に必要な訓練を行なっているか。



Q48 契約時やイベント時、事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。



Q49 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか。



Q50 安全計画を策定し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分にされた中で支援が行われているか。



Q51 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう安全計画に基づく取り組み内容について、家族等へ周知しているか。



Q52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。



Q53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。



Q54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。

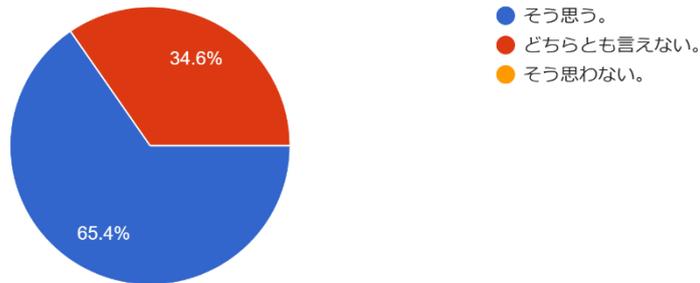


Q46～Q54で「どちらとも言えない」「いいえ」があった場合、改善のため工夫していること、今後工夫すべきことはあるか。また「はい」だとしたらどのようなことを工夫しているか。(2件の回廊)

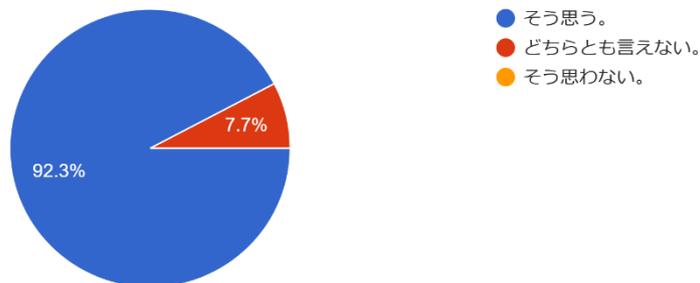
- ・BCP マニュアルを作成し、今年度はそれをもとに法人全体としての避難訓練を行っている。
- ・年に2回、子どもたちと防災について考える機会を設けてる。2024年度に関しては、札幌市民防災センターへ見学に行っている。

2024 年度 えりく保護者アンケート
(2025 年 2 月実施)

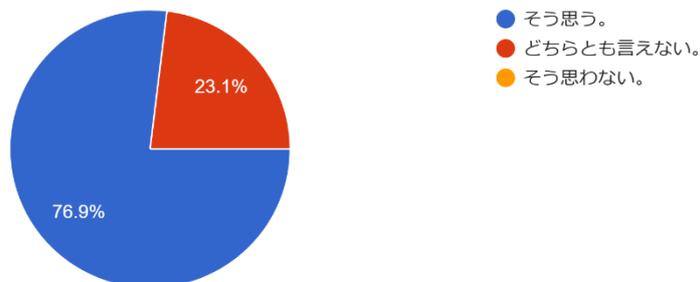
Q1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。



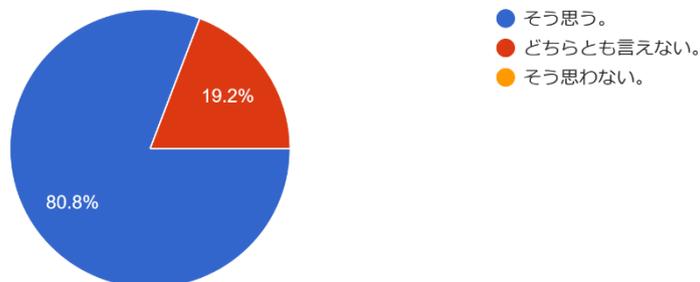
Q2 子どもの人数に対して、職員は十分配置されていると思いますか。



Q3 活動空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、子どもの特性に応じた配慮が適切になされていると思いますか。

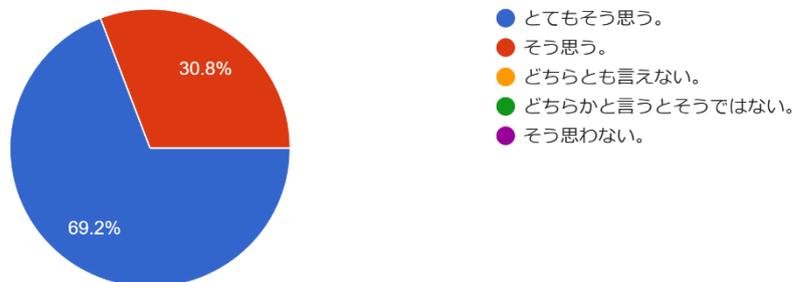


Q4 活動空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。

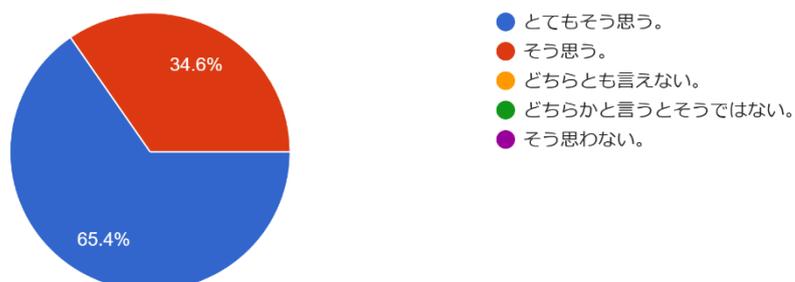


Q1～Q4 で何かご意見等あればお願いします。(回答なし)

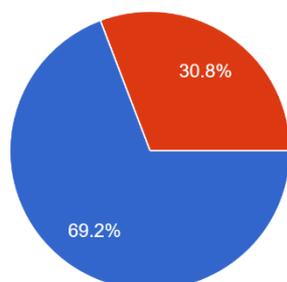
Q5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性に応じた支援が受けられていると思いますか。



Q6 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されていると思いますか。

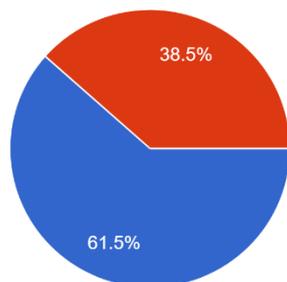


Q7 個別支援計画には、本人への支援、家族への支援等について必要な支援内容や支援目標が適切に設定されていると思いますか。



- とてもそう思う。
- そう思う。
- どちらとも言えない。
- どちらかと言うとそうではない。
- そう思わない。
- わからない。

Q8 個別支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。

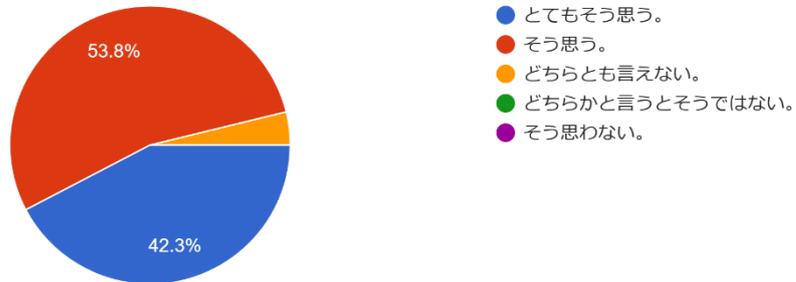


- とてもそう思う。
- そう思う。
- どちらとも言えない。
- どちらかと言うとそうではない。
- そう思わない。

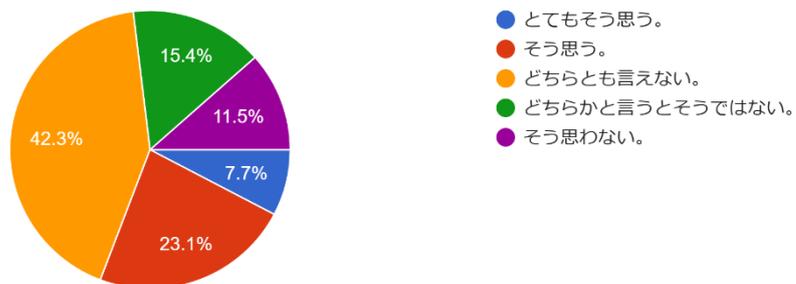
Q5-8 についてご意見があればお願いします。(1 件回答)

・支援計画書は、あの量を記入しないと行政から指導が入るのでしょうか。支援計画を立てるのも大変ですし、そこまで細かく書かなくてもいいのにと感じていました。文字数ですが、せめて半分に！と思います。

Q9 えりくの活動内容が固定化されないように工夫されていると思いますか。



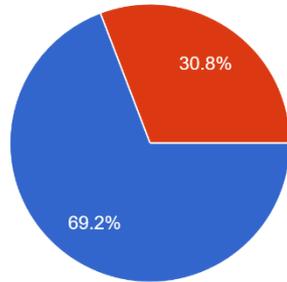
Q10 児童館との交流や地域の子どもと活動する機会がありますか。



Q11 えりくを利用する際に、運営規定や支援内容、利用者負担について丁寧な説明がありましたか。



Q12 個別支援計画の説明の際、計画内容に沿った支援内容の説明がありましたか。

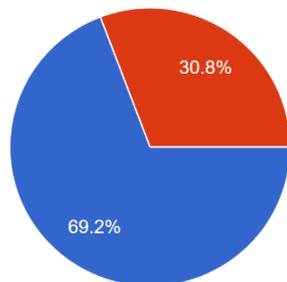


- とてもそう思う。
- そう思う。
- どちらとも言えない。
- どちらかと言うとそうではない。
- そう思わない。

Q9-Q12 について、ご意見等ありましたらお願いします。(1 件回答)

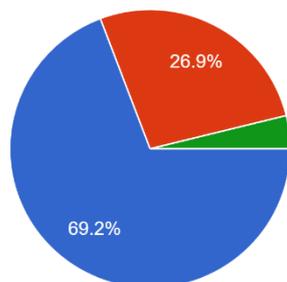
・活動内容がバラエティに富んでいたら嬉しかったり、わくわくドキドキを求めたりするお子さんもいるかも知れませんが、我が子は毎回同じような活動で変化がないことに安心できるので、変わらない通所活動が好きです。たまのイベントで、前からわかっているものは楽しみにしています。

Q13 えりくから家族への相談支援の提供や、家族等も参加できる研修や情報提供の機会がありますか。



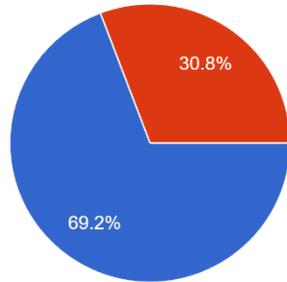
- とてもそう思う。
- そう思う。
- どちらとも言えない。
- どちらかと言うとそうではない。
- そう思わない。

Q14 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。



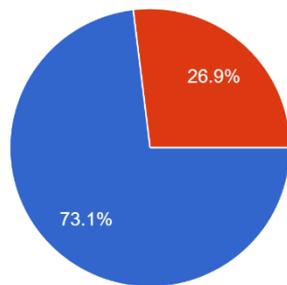
- とてもそう思う。
- そう思う。
- どちらとも言えない。
- どちらかと言うとそうではない。
- そう思わない。

Q15 定期的に面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。



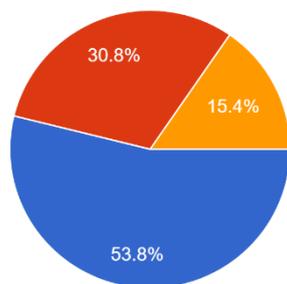
- とてもそう思う。
- そう思う。
- どちらとも言えない。
- どちらかと言うとそうではない。
- そう思わない。

Q16 事業所の職員から共感的な支援をされていると思いますか。



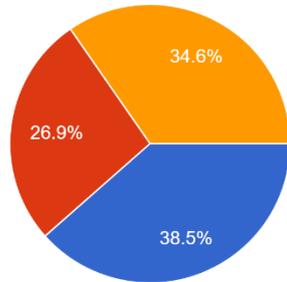
- とてもそう思う。
- そう思う。
- どちらとも言えない。
- どちらかと言うとそうではない。
- そう思わない。

Q17 保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会を設けられることでの家族への支援はなされていますか。



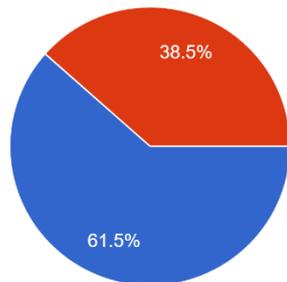
- とてもそう思う。
- そう思う。
- どちらとも言えない。
- どちらかと言うとそうではない。
- そう思わない。

Q18 きょうだい同士の関係が円滑にいくような助言や、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がなされていますか。



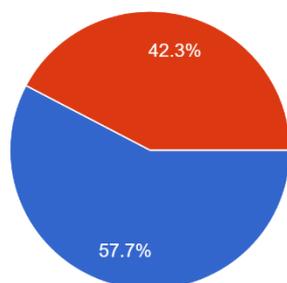
- とてもそう思う。
- そう思う。
- どちらとも言えない。
- どちらかと言うとそうではない。
- そう思わない。

Q19 子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることを、周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。



- とてもそう思う。
- そう思う。
- どちらとも言えない。
- どちらかと言うとそうではない。
- そう思わない。

Q20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。



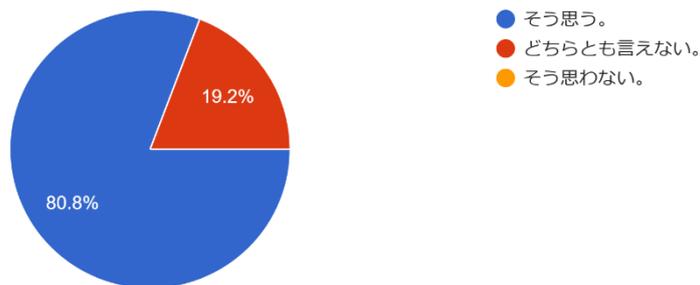
- とてもそう思う。
- そう思う。
- どちらとも言えない。
- どちらかと言うとそうではない。
- そう思わない。

Q13-Q20 は家族支援がテーマですが、ご家族支援等についてご意見や改善点等があればお願いします。(2件回答)

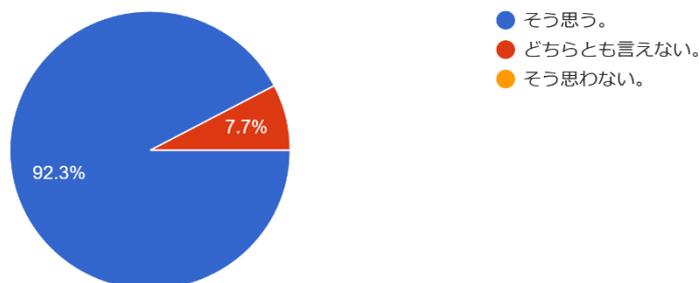
・保護者との連絡帳が、LINE などになり、子供の目を通す事を気にせずにやりとりできるとありがたいと思います。

・親、とくに父親が多いのかな？の障害受容ができていない、もしくは子育てにそもそも興味がない時、どういう働きかけをしたらいいのか、ずーっと考えています。「そもそも子どもに興味がない」人には理解を求めるのが難し過ぎです。私を含め親にもなんらかの「生きづらさ」があることも多いので、障害児へのサポートって難しいですね(ただの個人的な意見です)。

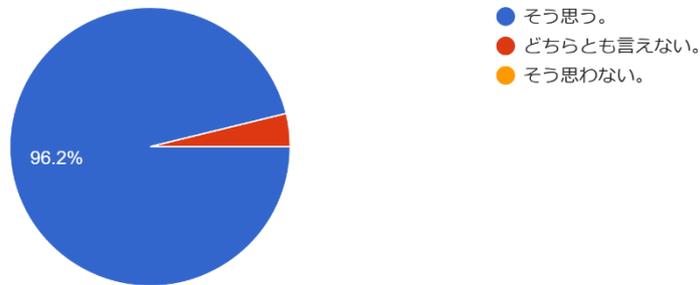
Q21 定期的に通信やホームページ・SNS 等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関することを子どもや保護者に対して発信されていますか。



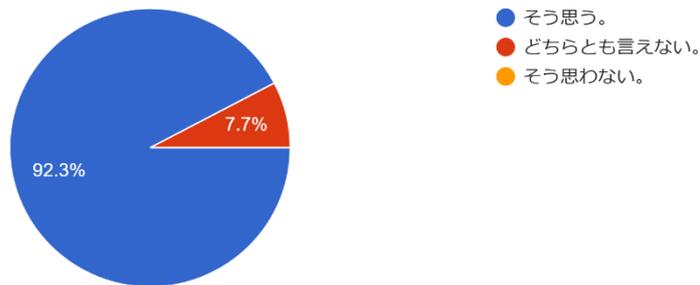
Q22 個人情報の取り扱いについて十分に留意されていると思いますか。



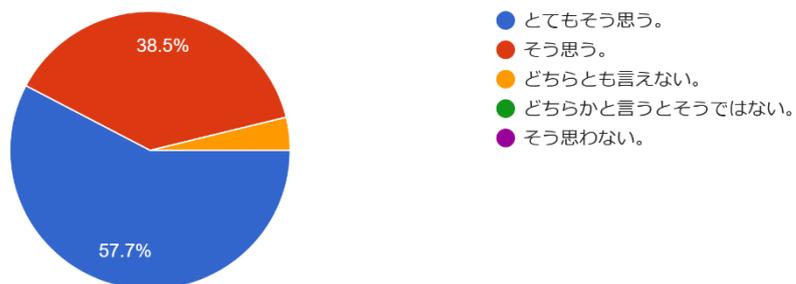
Q23 事業所では、安全対策マニュアル・緊急時対応マニュアル・感染症マニュアル等が策定され、保護者に周知・策定されていますか。



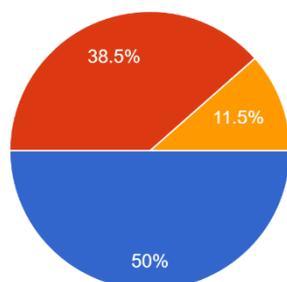
Q24 災害時に備え、定期的に避難訓練等が行われていますか。



Q25 事業所から子どもの安全を確保するための計画について周知され、安全の確保が十分にされた上で支援が行われていると思いますか。



Q26 怪我や事故等が発生した時に、事業所から速やかな連絡や状況についての説明がされていると思いますか。

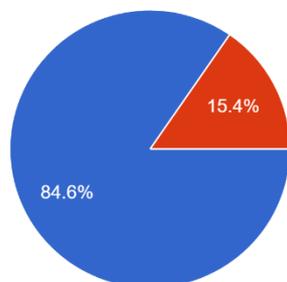


- とてもそう思う。
- そう思う。
- どちらとも言えない。
- どちらかと言うとそうではない。
- そう思わない。

Q21-26 について、ご意見や不明点があればご記載ください。(2 件回答)

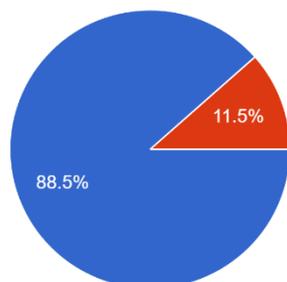
- ・Q26 は、そうであろうというところで回答しています。
- ・事業所で怪我や事故の経験がないのでわかりません。

Q27 子どもは安心感をもって通所していますか。



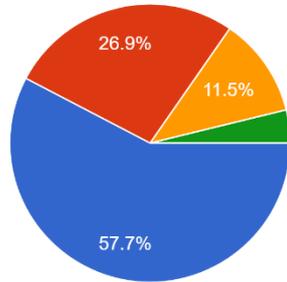
- とてもそう思う。
- そう思う。
- どちらとも言えない。
- どちらかと言うとそうではない。
- そう思わない。

Q28 子どもは職員を信頼していると思いますか。



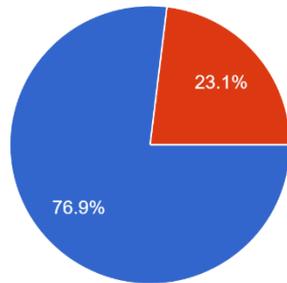
- とてもそう思う。
- そう思う。
- どちらとも言えない。
- どちらかと言うとそうではない。
- そう思わない。

Q29 子どもは通所を楽しみにしていますか。



- とてもそう思う。
- そう思う。
- どちらとも言えない。
- どちらかと言うとそうではない。
- そう思わない。

Q30 えりくの支援に満足していますか。

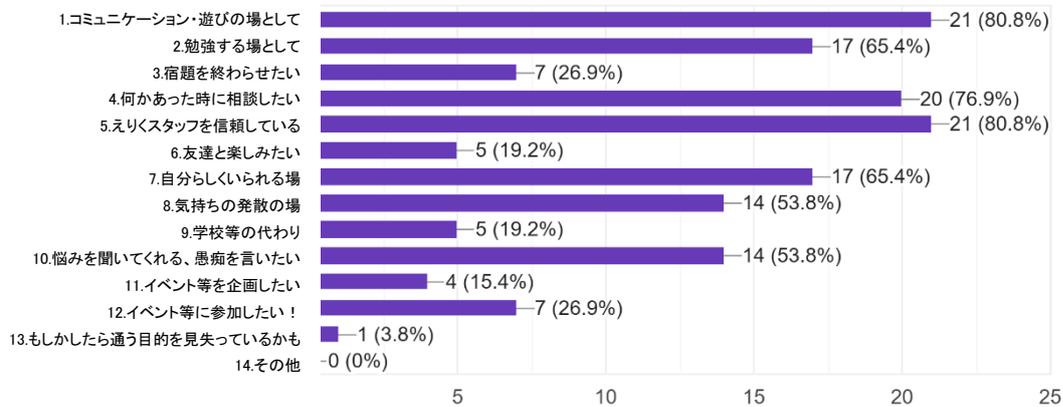


- とてもそう思う。
- そう思う。
- どちらとも言えない。
- どちらかと言うとそうではない。
- そう思わない。

Q27-30は「えりくの支援について」のご家庭の満足度と関わるのですが、それについて、ご意見や改善点があればお願いします。(1件回答)

・スタッフのみなさんの人柄がとてもよく、何より子どもが信頼しているのを私も感じられているので、安心しています。

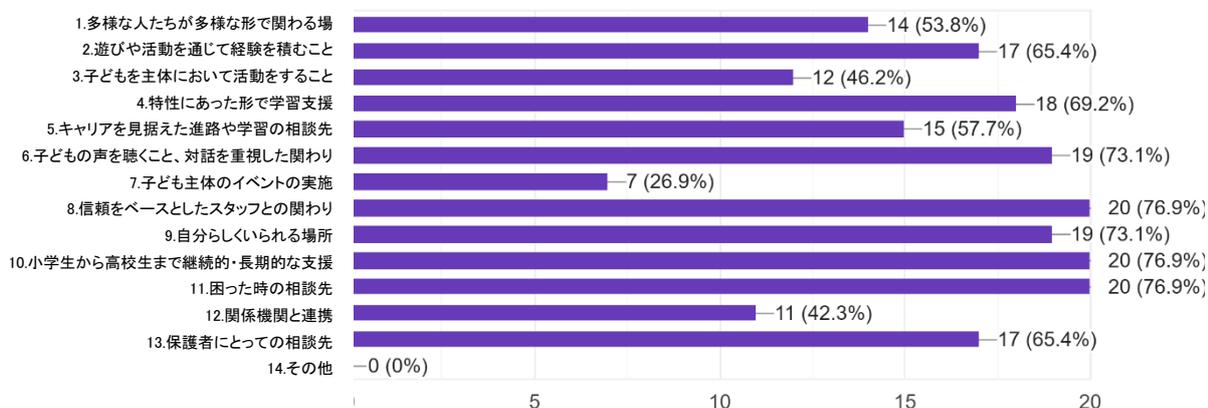
Q31 保護者のみなさまからみてお子さまがえりに通う目的はなんだと思いますか。(複数選択可)



Q32 上記にチェックした理由を教えてください。(10件の回答)

- ・スタッフのことは信頼しているし、何か困ったことや、悩みがある時は自ら相談しているようなので。相談する人がたくさんいて幸せだねと話していました。
- ・本来、勉強が理解しづらいということで えりきに通所しているので、本人が勉強をしていないと聞くと、本来の目的からズレてしまっていると思います。
- ・颯太を見てそう思ったからでした。
- ・行く日を楽しみにしているから
- ・連絡帳に書かれた内容から、自分の部屋にいるときと同じ過ごし方をしているようなので。
- ・家庭以外の子どもの居場所があって欲しいと思っていたので、居場所ができて嬉しいです。

Q33 えりくでは以下のことに力を入れています。期待しているところはなんですか。(複数選択可)



Q34 上記にチェックした理由やえりくに期待していることをご記入ください。(4件回答)

- ・子どもの気持ちを優先で、指導的ではないことに感謝しています。大人を信頼しても良いのだと思っています。
- ・今後の子どもへの勉強の関わり方は、考えるものがあります。えりくと相談をしながら進めていきたいと思っています。
- ・相手の気持ちが理解でき、共に楽しんだり学んだりする場所であること
- ・今のままお願いします。

Q35 えりくのスタッフにメッセージがあれば、ぜひお願いします。日々の活動の力になります。(16件回答)

- ・いつもありがとうございます。
- ・いつもありがとうございます。なかなか行けていませんが頼りにしています。
- ・いつも何かあった時にはすぐに対応していただきありがとうございます。これからも引き続きよろしくお願いいたします。
- ・日々息子に療育して下さいまして、ありがとうございます。お疲れ様です お身体に気をつけて頑張ってください
- ・いつもありがとうございます。なかなか自分の事が話せない子供でしたが、長期的にかかわってくださってだいぶ自分が出せるようになりました。それもあってか親が友達が出来ないと心配していたのをよそに、高校では分かり合える友達と出会えて楽しく過ごせています。残りももう少しとなってしまいましたが、最後までよろしくお願いいたします。
- ・本当にいつもありがとうございます。自分の声を聞いてくれる場所があって幸せだと思います。これからもよろしくお願いいたします。
- ・いつもありがとうございます。とても感謝しております。これからもよろしくお願いいたします。
- ・いつもお世話になっております。子も親も輪郭のないぼんやりとした不安に包まれておりますが、耳を傾けていただき、ありがとうございます。
- ・いつも温かく接して下さい、ありがとうございます。かけてくださる温かい言葉が、子どもたちの力になっていると感じています。
- ・いつも、颯太に寄り添ってくださりありがとうございます。
- ・いつもありがとうございます
- ・いつもありがとうございます。これからもよろしくお願いいたします。
- ・ずっと変わらない対応をしていただいていることがありがたいです 子供が行きたいと感じられる場所を提供していただきありがとうございます
- ・子供と家庭とのコミュニケーションをとっていただいたいて心強く感じております。いつも本当にありがとうございます。
- ・いつもありがとうございます。子どもや保護者にいつも丁寧に寄り添ってもらえて、とても心強いです。これからもどうぞよろしくおねがいたします。
- ・子どもだけではなく、私の心のよりどころでもあります。いつも話を聞いてくれてありがたいです。えりくに行くと私も元気になれます。

2024 年度えりく 2 事業者アンケート (2025 年 2-3 月実施)

Q1 利用定員が利用スペースとの関係で適切と言えるか。またはスペースに応じて配慮しているか。



Q2 子どもの人数に対して職員の配置数は適切であるか。



Q3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮がなされているか。あるいは移動や活動がスムーズにいくような配慮がなされているか。



Q4 活動空間は清潔で、心地よく過ごせるようになっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか。



Q5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。



Q1～Q5で「どちらとも言えない」「いいえ」があった場合、改善のため工夫していること、今後工夫すべきことはあるか。また「はい」だとしたらどのようなことを工夫しているか。

(4件の回答)

- ・大掃除も含め過ごしやすいよう掃除をしている。階段に手すりを付けている。
- ・定期的な掃除や年末の大掃除で清潔を保っている。
- ・長期休みの前にはワックスがけ等行い、清潔が保たれる環境にしている。
- ・定期的な掃除と、年末の大掃除で清潔を保っている。

Q6 業務や支援の質をより良くするための、目標設定と振り返りに広く職員が参画しているか。



Q7 保護者ニーズを聞いたり、アンケート等を実施したりすることで、保護者の意向を把握し、業務の質をよりよくしていく取り組みをしているか。



Q8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に繋げているか。



Q9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。



Q10 職員の資質向上を行うために、研修等の機会を確保しているか。



Q6～Q10で「どちらとも言えない」「いいえ」があった場合、改善のため工夫していること、今後工夫すべきことはあるか。

また「はい」だとしたらどのようなことを工夫しているか。（4件の回答）

- ・ Q9、第三者による評価は行っていないが、代表が定期的な業務改善をおこなっているため。
- ・ Q9. 第三者による外部評価は行っていないが、代表が定期的な業務改善を行っている。
- ・ Q9.第三者による外部評価はしていないが、定期的に業務改善のための評価を代表が行っているため。
- ・ Q9.第三者による外部評価は行っていないが、代表が定期的な業務改善を行っている。

Q11 適切に支援プログラムの作成、公表がされているか。



Q12 個々の子どもに対してアセスメントとそのための会議を行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成し、支援につなげているか。



Q13 個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解のもとで、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。



Q14 個別支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。



Q11～Q14で「どちらとも言えない」「いいえ」があった場合、改善のため工夫していること、今後工夫すべきことはあるか。

また「はい」だとしたらどのようなことを工夫しているか。（4件の回答）

- ・送迎時に保護者のニーズや面談を行い個別支援計画の作成や職員にも共有を行い支援を行っている。
- ・個別支援計画の際は、強みや成長面も書いている。
- ・Q12.アセスメントや個別支援計画作成時には状況に応じて心理職の意見も仰ぎ、取り入れている。
- ・個別支援計画作成の際は、強みや成長面も書いている。

Q15 子どもの支援に結びつけるために標準化されたフォーマルなアセスメントツールを使用しているか。また、日々の行動観察なども含む、インフォーマルなアセスメントを職員間で共有し、支援につなげているか。



Q16 個別支援計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の狙い及び支援内容も含めながら、子ども支援に必要な項目が適切に設定され、その上で具体的な支援内容が設定されているか。



Q17 支援内容の立案をチームで行っているか。



Q18 支援内容が固定化しないように工夫しているか。



Q19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて個別支援計画を作成し、支援が行われているか。



Q15～Q19 で「どちらとも言えない」「いいえ」があった場合、改善のため工夫していること、今後工夫すべきことはあるか。

また「はい」だとしたらどのようなことを工夫しているか。(4件の回答)

- ・他機関との連携を視野に入れながら支援を行っている。
- ・イベントを通し、スタッフや他児童との関る事ができるように工夫している。
- ・季節ごとにイベントや子どもの発信からイベント企画をし、支援内容が固定化しないよう工夫している。

Q20 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。



Q21 支援終了後には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。



Q22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。



Q23 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか。



Q24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。



Q25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。



Q20～Q25で「どちらとも言えない」「いいえ」があった場合、改善のため工夫していること、今後工夫すべきことはあるか。また「はい」だとしたらどのようなことを工夫しているか。(4件の回答)

- ・支援前には目的等を打ち合わせて支援を行い、その日の振り返りを行っている。
- ・モニタリングの時間に面談を行い、保護者からの想いを聞き取り、支援に活かしている。
- ・日々の指導日誌を記入するフォーマットについて、より情報共有がされやすいよう定期的な改善をしている。
- ・モニタリングの時期に面談を行い、保護者からの思いを聞き取り、支援に活かしている。

Q26 相談支援事業所とのサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解したものが参画しているか。



Q27 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。



Q28 学校との情報共有や連携等を適切に行っているか。



Q29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有や相互理解に努めているか。



Q30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所に移行する場合、それまでの支援内容等の情報共



Q31 児童発達支援センターや発達障害者支援センター、他の放課後等デイサービスなどと連携し、必要に応じて助言や研修を受ける機会を設けているか。



Q26～Q31で「どちらとも言えない」「いいえ」があった場合、改善のため工夫していること、今後工夫すべきことはあるか。また「はい」だとしたらどのようなことを工夫しているか。（4件の回答）

- ・Q29 就学後の利用がなかったため、そういった状況がなかった。今後は必要に応じて行っていききたいと思います。
- ・Q29. 就学直後に通所するようになった利用者がいなかったため、行っていない。 今後は、必要に応じて情報共有などを行っていききたい。
- ・Q29.今までに就学すぐのタイミングでの利用するような状況がなかったため、実施していない。今後も必要に応じて就学前利用していた機関との連携をしていく。
- ・Q29.就学直後に通所するようになった利用者がいなかったため、行っていない。今後は必要に応じて情報共有などを行っていききたい。

Q32 放課後児童クラブ等の地域資源を活用し、地域の子どもと交流・活動する機会を作っているか。



Q33 地域自立支援協議会に積極的に参加しているか。



Q34 日頃からこどもの状況を伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。



Q35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対しての家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。



Q32～Q35 で「どちらとも言えない」「いいえ」があった場合、改善のため工夫していること、今後工夫すべきことはあるか。また「はい」だとしたらどのようなことを工夫しているか。(4件の回答)

・Q33 該当する区で開催されていないため参加していませんでした。今後、開催される場合は参加したいと思います。

・Q33. 該当する区で開催されておらず、参加していなかったが、今後参加できるよう工夫したい。

・Q.33 中央区での子ども部会が開催されなかったため参加していない。今後開催された場合は参加したい。

・Q33.該当する区で開催されておらず、参加していなかったが、今後参加したいと考えている。

Q36 保護者に対し、運営規定、支援の内容、利用者負担について丁寧な説明を行っているか。



Q37 個別支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮などの観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。



Q38 個別支援計画を示しながら、保護者への支援内容の説明と同意を得ているか。



Q39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。



Q40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等によって、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。



Q36～Q40で「どちらとも言えない」「いいえ」があった場合、改善のため工夫していること、今後工夫すべきことはあるか。また「はい」だとしたらどのようなことを工夫しているか。（4件の回答）

- ・ Q40 同一法人内で行われている大人の学び場という場を設定している。
- ・ Q40 同一法人内の保護者同士が交流する機会を定期的に設けている。
- ・ Q40 同一法人内におけるイベントにて保護者会や交流の機会を設けている。
- ・ Q40 同一法人内で、スタッフ含め保護者同士の交流の場を設けている。

Q41 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。



Q42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や活動予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。



Q43 個人情報の取り扱いに十分留意しているか。



Q44 障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。



Q45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営をしているか。



Q41～Q45で「どちらとも言えない」「いいえ」があった場合、改善のため工夫していること、今後工夫すべきことはあるか。また「はい」だとしたらどのようなことを工夫しているか。(4件の回答)

- ・ Q45 子供食堂などを通じ地域住民の型や畑などをつうじて交流をおこなっている。
- ・ Q45. こども食堂を開くなど、地域の子供たちも参加できるような行事を定期的に行っている。
- ・ Q45 法人内主催の子ども食堂の開催について、近隣住民に周知している。
- ・ Q44 子どもの障害特性に配慮し、視覚化等を行っている。

Q46 事故防止・緊急時対応・防犯・感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知し、訓練や研修等を行なっているか。



Q47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に必要な訓練を行なっているか。



Q48 契約時やイベント時、事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。



Q49 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか。



Q50 安全計画を策定し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分にされた中で支援が行われているか。



Q51 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう安全計画に基づく
取り組み内容について、家族等へ周知しているか。



Q52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をして
いるか。



Q53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている
か。



Q54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。

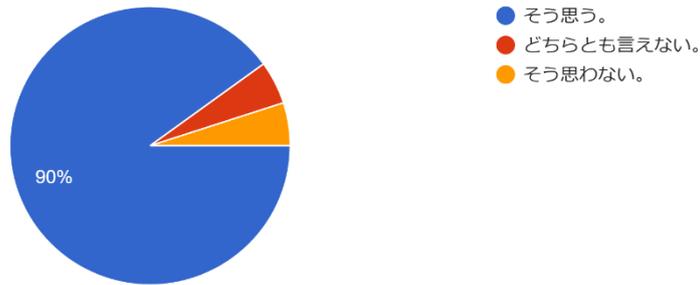


Q46～Q54で「どちらとも言えない」「いいえ」があった場合、改善のため工夫していること、今後工夫すべきことはあるか。また「はい」だとしたらどのようなことを工夫しているか。(4件の回答)

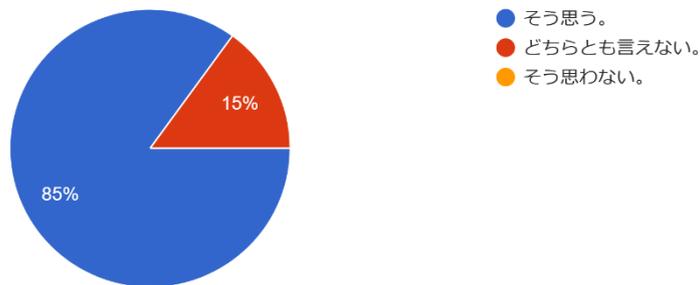
- ・ Q53 事業所内で虐待研修を行う時間を作っている。
- ・ Q52. ヒヤリハットについて、どのような対応をしたのか、再発防止のためにどのように環境調整をすればいいかをスタッフ間で話し合っている。
- ・ Q52 ヒヤリハットについては法人全体で共有することでヒヤリハットの防止に努めている。
- ・ Q50.同一法人内の事業所合同で安全研修を行っている。

2024 年度 えりく 2 保護者アンケート
(2025 年 2 月実施)

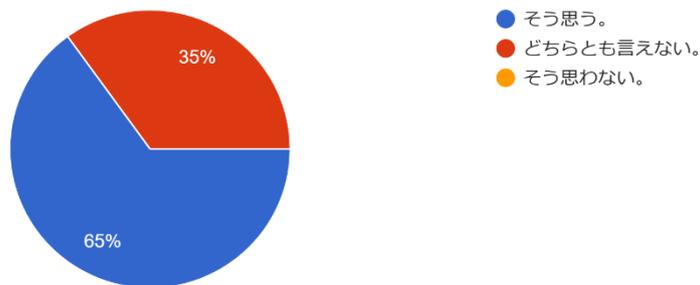
Q1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。



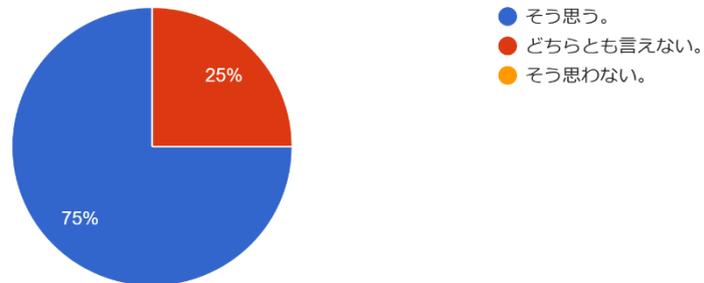
Q2 子どもの人数に対して、職員は十分配置されていると思いますか。



Q3 活動空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、子どもの特性に応じた配慮が適切になされていると思いますか。



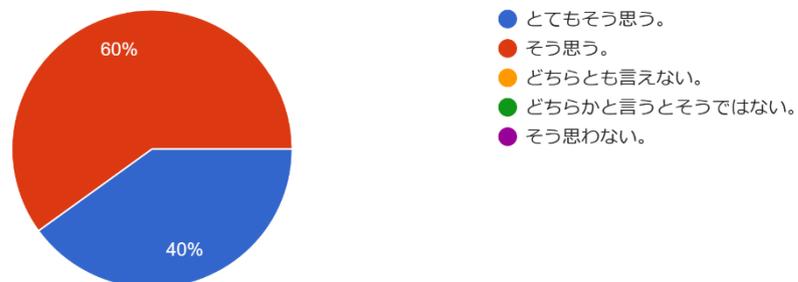
Q4 活動空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。



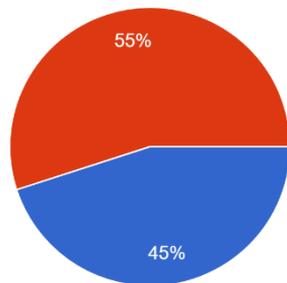
Q1～Q4 で何かご意見等あればお願いします。(1 件回答)

・手狭いとは思いますが、アットホームでよいのでは。

Q5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性に応じた支援が受けられていると思いますか。

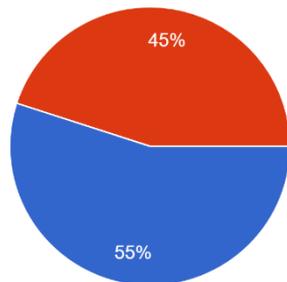


Q6 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されていると思いますか。



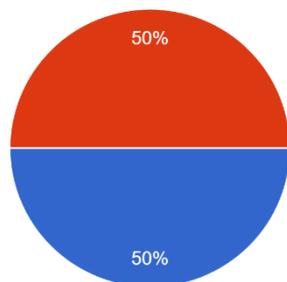
- とてもそう思う。
- そう思う。
- どちらとも言えない。
- どちらかと言うとそうではない。
- そう思わない。

Q7 個別支援計画には、本人への支援、家族への支援等について必要な支援内容や支援目標が適切に設定されていると思いますか。



- とてもそう思う。
- そう思う。
- どちらとも言えない。
- どちらかと言うとそうではない。
- そう思わない。
- わからない。

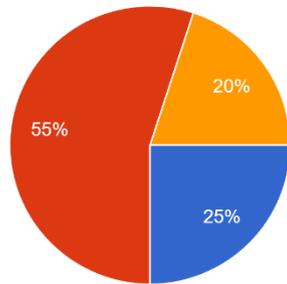
Q8 個別支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。



- とてもそう思う。
- そう思う。
- どちらとも言えない。
- どちらかと言うとそうではない。
- そう思わない。

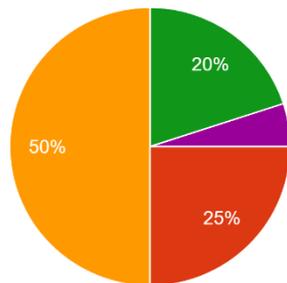
Q5-8 についてご意見があればお願いします。(回答なし)

Q9 えりくの活動内容が固定化されないように工夫されていると思いますか。



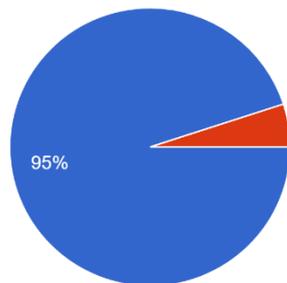
- とてもそう思う。
- そう思う。
- どちらとも言えない。
- どちらかと言うとそうではない。
- そう思わない。

Q10 児童館との交流や地域の子どもと活動する機会がありますか。



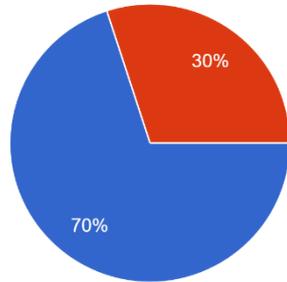
- とてもそう思う。
- そう思う。
- どちらとも言えない。
- どちらかと言うとそうではない。
- そう思わない。

Q11 えりくを利用する際に、運営規定や支援内容、利用者負担について丁寧な説明がありましたか。



- そう思う。
- どちらとも言えない。
- そう思わない。

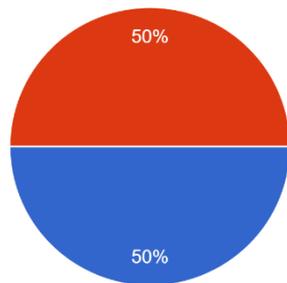
Q12 個別支援計画の説明の際、計画内容に沿った支援内容の説明がありましたか。



- とてもそう思う。
- そう思う。
- どちらとも言えない。
- どちらかと言うとそうではない。
- そう思わない。

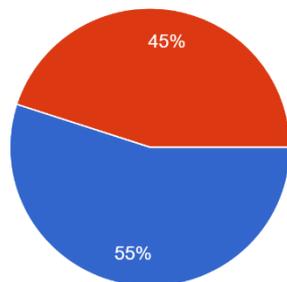
Q9-Q12 について、ご意見等ありましたらお願いします。(回答なし)

Q13 えりくから家族への相談支援の提供や、家族等も参加できる研修や情報提供の機会がありますか。



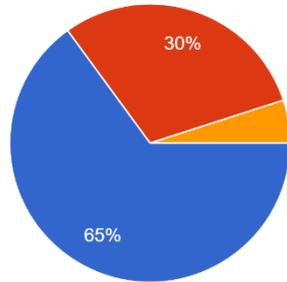
- とてもそう思う。
- そう思う。
- どちらとも言えない。
- どちらかと言うとそうではない。
- そう思わない。

Q14 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。



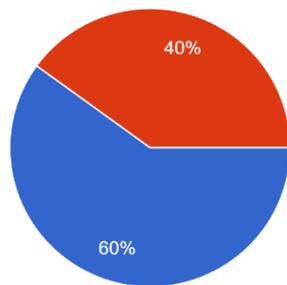
- とてもそう思う。
- そう思う。
- どちらとも言えない。
- どちらかと言うとそうではない。
- そう思わない。

Q15 定期的に面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。



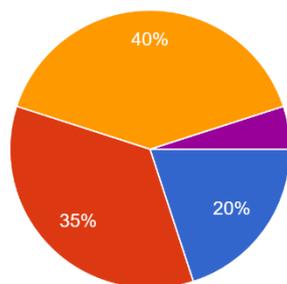
- とてもそう思う。
- そう思う。
- どちらとも言えない。
- どちらかと言うとそうではない。
- そう思わない。

Q16 事業所の職員から共感的な支援をされていると思いますか。



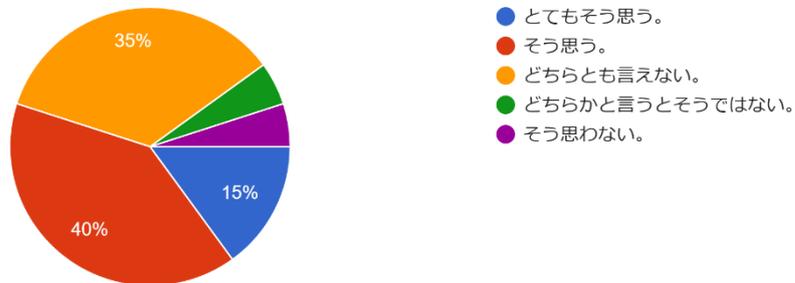
- とてもそう思う。
- そう思う。
- どちらとも言えない。
- どちらかと言うとそうではない。
- そう思わない。

Q17 保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会を設けられることでの家族への支援はなされていますか。

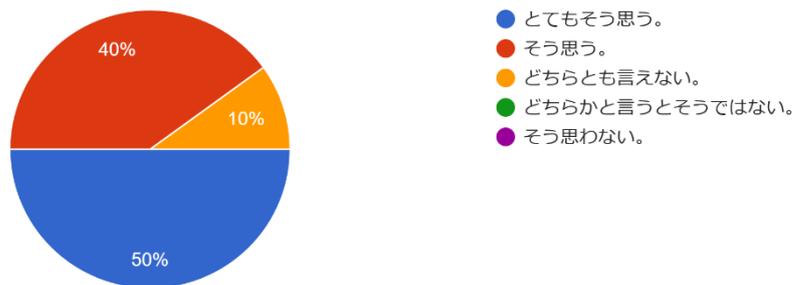


- とてもそう思う。
- そう思う。
- どちらとも言えない。
- どちらかと言うとそうではない。
- そう思わない。

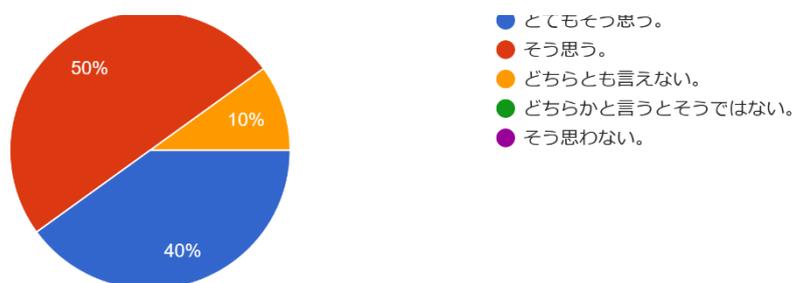
Q18 きょうだい同士の関係が円滑にいような助言や、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がなされていますか。



Q19 子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることを、周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。



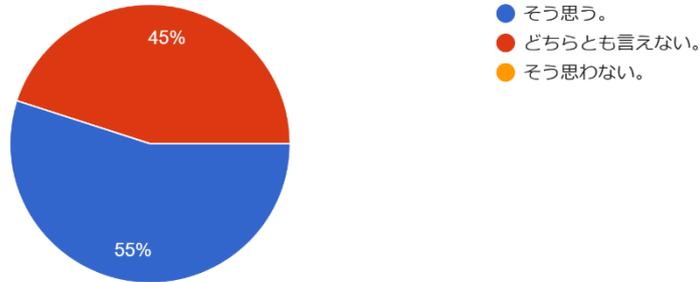
Q20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。



Q13-Q20 は家族支援がテーマですが、ご家族支援等についてご意見や改善点等があればお願いします。(1件回答)

・開放された雰囲気ではないかも

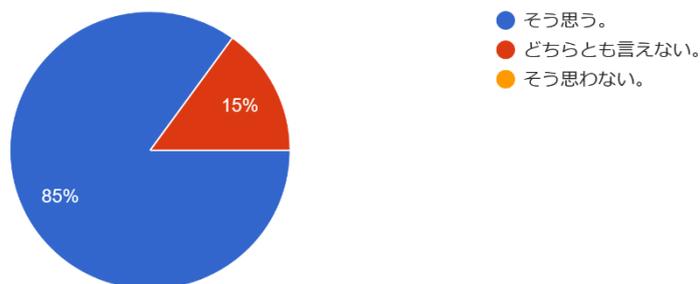
Q21 定期的に通信やホームページ・SNS 等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関することを子どもや保護者に対して発信されていますか。



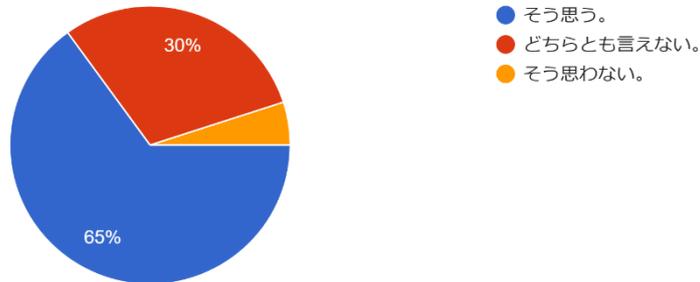
Q22 個人情報の取り扱いについて十分に留意されていると思いますか。



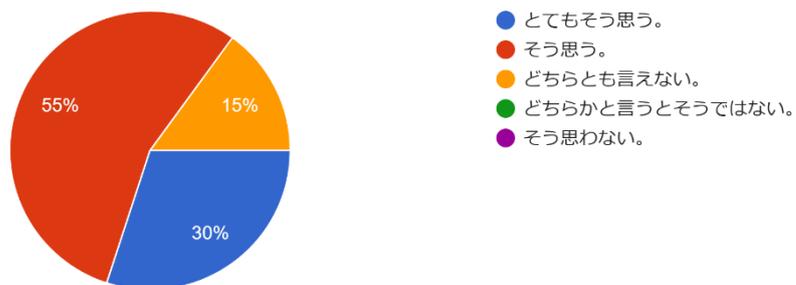
Q23 事業所では、安全対策マニュアル・緊急時対応マニュアル・感染症マニュアル等が策定され、保護者に周知・策定されていますか。



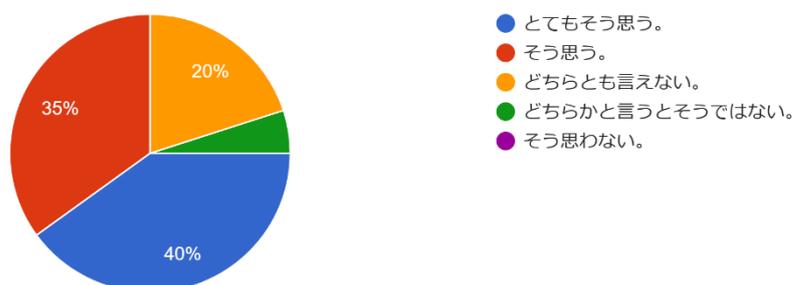
Q24 災害時に備え、定期的に避難訓練等が行われていますか。



Q25 事業所から子どもの安全を確保するための計画について周知され、安全の確保が十分にされた上で支援が行われていると思いますか。

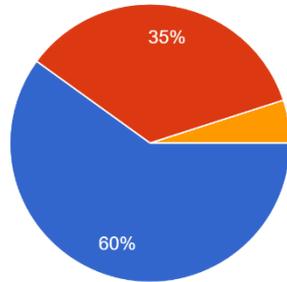


Q26 怪我や事故等が発生した時に、事業所から速やかな連絡や状況についての説明がされていると思いますか。



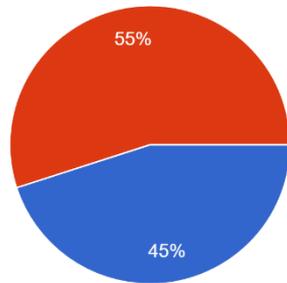
Q21-26 について、ご意見や不明点があればご記載ください。(0 件回答)

Q27 子どもは安心感をもって通所していますか。



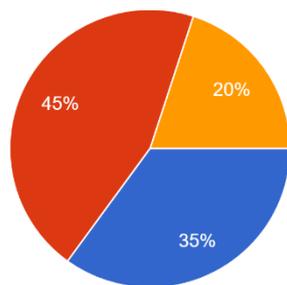
- とてもそう思う。
- そう思う。
- どちらとも言えない。
- どちらかと言うとそうではない。
- そう思わない。

Q28 子どもは職員を信頼していると思いますか。



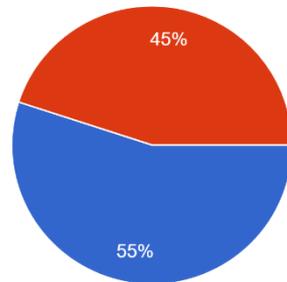
- とてもそう思う。
- そう思う。
- どちらとも言えない。
- どちらかと言うとそうではない。
- そう思わない。

Q29 子どもは通所を楽しみにしていますか。



- とてもそう思う。
- そう思う。
- どちらとも言えない。
- どちらかと言うとそうではない。
- そう思わない。

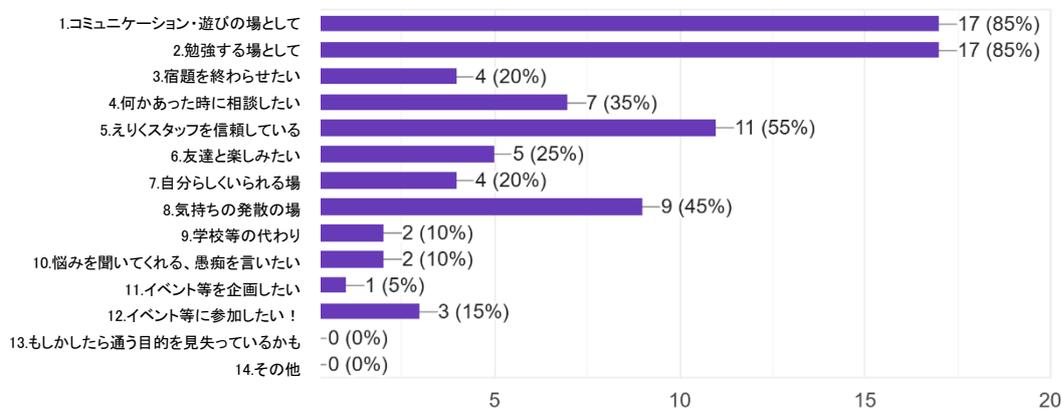
Q30 えりくの支援に満足していますか。



- とてもそう思う。
- そう思う。
- どちらとも言えない。
- どちらかと言うとそうではない。
- そう思わない。

Q27-30は「えりくの支援について」のご家庭の満足度と関わるのですが、それについて、ご意見や改善点があればお願いします。(0件回答)

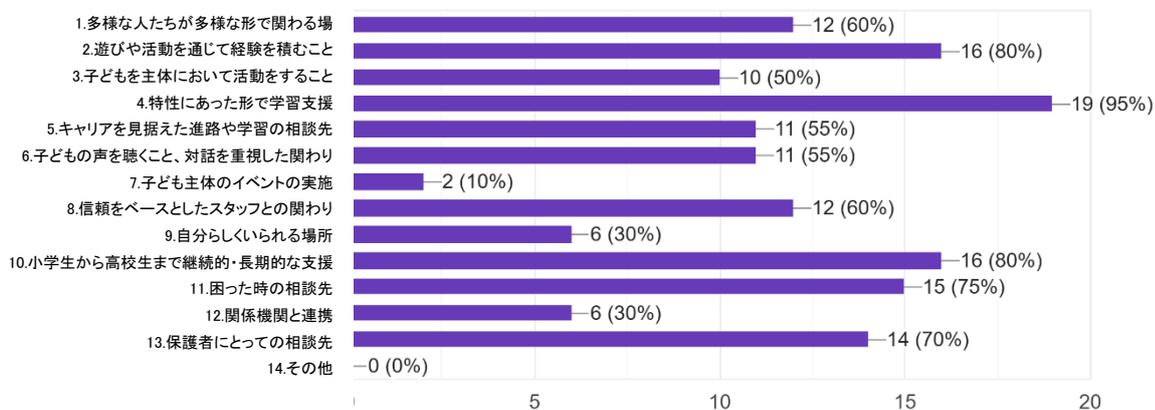
Q31 保護者のみなさまからみてお子さまがえりくに通う目的はなんだと思いますか。(複数選択可)



Q32 上記にチェックした理由を教えてください。(3件回答)

- ・もう習慣のようになり、利用を楽しみにしている日も見られるから
てもらえそう
- ・信頼できるスタッフさんやお友達を作って、自分の思いを話せるようになってもらいたい為
- ・えりくだけは、行き渋らない。

Q33 えりくでは以下のことに力を入れています。期待しているところはなんですか。(複数選択可)



Q34 上記にチェックした理由やえりくに期待していることをご記入ください。(4件回答)

- ・毎週会うので、子供の特徴や性格を知って頂いているので、トラブルがあった時(病院よりも、すぐに)相談しやすい
- ・子どもも必要としてますが、小さな悩みも聞いてくれて一緒に解決をしてくれようとアドバイスを貰えているから
- ・親子共々、困った事があった時に相談させてもらいたいです。子どもが、親には言いにくい、相談事を話せる場になってもらいたいです。
- ・子供の将来が不安です

Q35 えりくのスタッフにメッセージがあれば、ぜひお願いします。日々の活動の力になります。(10件回答)

・いつもありがとうございます。これからも引き続きよろしくお願いいたします。

・基本的に『休みたい』と言う事がない。気持ちが落ち着かない事があった時、行きたくない、ではなく、みんなに話をして気持ちをわかってもらいたい、と言う気持ちを持って通所しています。それは、信頼しているからだと思います。いつも本当にありがとうございます。

・いつもありがとうございます！精神的に成長もしていますが、えりくに通って痛癢が減ったり楽しみに通所する姿が見られています。子どもの自信になるような声かけをしてくれたり、支援をしてくださり感謝しています。今後もよろしくお願いいたします！

・一緒に悩んだり、成長に喜んだりしてくださり、ありがとうございます。これからもよろしくお願いいたします。

・いつもお世話になってます。先生達のおかげで親子共々助けられています。これからもよろしくお願いいたします。

・いつも子どもへの前向きな関わりや大切に思ってくださいのお気持ちを感じています。スタッフと利用者という関係ではありますが、一人の人間として大切に対応してくださっていることに日々感謝しています。

・いつも親身になって対応してくださり、本当に助かっています。これからもよろしくお願いいたします。

・日頃から、親子共々寄り添って関わって下さり、ありがとうございます。子どもも、興味のある事を活動に取り入れて下さり、ありがとうございます。お陰様で、楽しく通う事ができています。今度ともよろしくお願いいたします。

・いつもありがとうございます。居場所になっています。本当に助かっています。

・色々相談させて頂いたり、学校との連携をして頂いたり助かっています。これからも宜しくお願いします。

2024 年度えりく 3 事業者アンケート (2025 年 2-3 月実施)

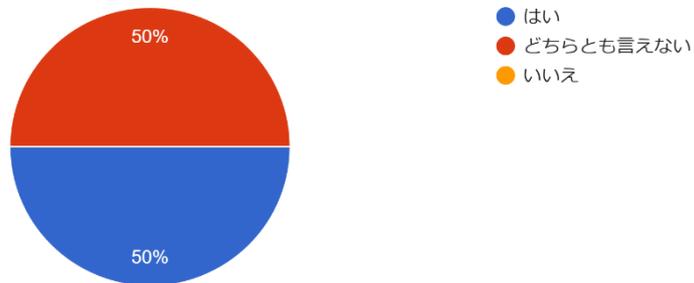
Q1 利用定員が利用スペースとの関係で適切と言えるか。またはスペースに応じて配慮しているか。



Q2 子どもの人数に対して職員の配置数は適切であるか。



Q3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮がなされているか。あるいは移動や活動がスムーズに行くような配慮がなされているか。



Q4 活動空間は清潔で、心地よく過ごせるようになっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか。



Q5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。



Q1～Q5で「どちらとも言えない」「いいえ」があった場合、改善のため工夫していること、今後工夫すべきことはあるか。また「はい」だとしたらどのようなことを工夫しているか。

(2件の回答)

- ・ Q3.事業所内はバリアフリー化がされているが、入り口の階段にはスロープが無いため、子どもや保護者に注意を呼びかけるなどの工夫が必要である。
- ・ Q3、事業所内はバリアフリー化されているが、事業所がある建物の外階段がバリアフリー化されていない。

Q6 業務や支援の質をより良くするための、目標設定と振り返りに広く職員が参画しているか。



Q7 保護者ニーズを聞いたり、アンケート等を実施したりすることで、保護者の意向を把握し、業務の質をよりよくしていく取り組みをしているか。



Q8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に繋げているか。



Q9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。



Q10 職員の資質向上を行うために、研修等の機会を確保しているか。



Q6～Q10で「どちらとも言えない」「いいえ」があった場合、改善のため工夫していること、今後工夫すべきことはあるか。

また「はい」だとしたらどのようなことを工夫しているか。（4件の回答）

- ・ Q9.現在には行っていないが今後検討したい。
- ・ Q9 現段階ではしていないが、今後必要に応じて検討する。 Q10 研修という形だけではなく、ワークショップ形式で、職員の意見や声を聴く場をつくっている。
- ・ Q9 は、行っていないため、必要に応じて進める。
- ・ Q9、今後検討をいたします

Q11 適切に支援プログラムの作成、公表がされているか。



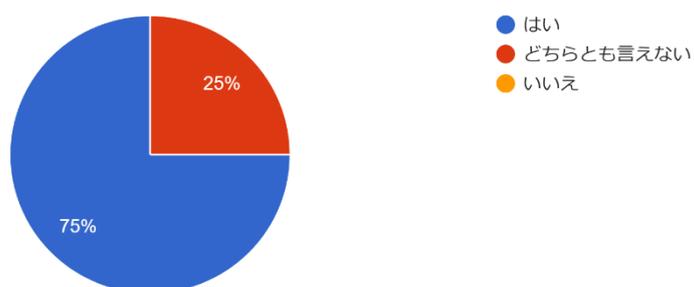
Q12 個々の子どもに対してアセスメントとそのための会議を行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成し、支援につなげているか。



Q13 個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解のもとで、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。



Q14 個別支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。



Q11～Q14で「どちらとも言えない」「いいえ」があった場合、改善のため工夫していること、今後工夫すべきことはあるか。

また「はい」だとしたらどのようなことを工夫しているか。（1件の回答）

・Q14について、周知しているが常勤職員と非常勤職員での情報の量に若干の格差がある。計画だけでなく、日々の振り返りで補っている。

Q15 子どもの支援に結びつけるために標準化されたフォーマルなアセスメントツールを使用しているか。また、日々の行動観察なども含む、インフォーマルなアセスメントを職員間で共有し、支援につなげているか。



Q16 個別支援計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の狙い及び支援内容も含めながら、子ども支援に必要な項目が適切に設定され、その上で具体的な支援内容が設定されているか。



Q17 支援内容の立案をチームで行っているか。



Q18 支援内容が固定化しないように工夫しているか。



Q19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて個別支援計画を作成し、支援が行われているか。



Q15～Q19 で「どちらとも言えない」「いいえ」があった場合、改善のため工夫していること、今後工夫すべきことはあるか。

また「はい」だとしたらどのようなことを工夫しているか。（2件の回答）

・ Q15.標準化されたフォーマルなアセスメントツールは、データがある子は適宜スタッフ間で共有をしているが確実にできているわけではないため、今後は広くスタッフ間で共有する機会を作っていきたい。

・ Q15 WISC 等の医療等で実施されたフォーマルなアセスメント結果を共有しているが徹底はされていなかった。

Q20 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。



Q21 支援終了後には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。



Q22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。



Q23 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか。



Q24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。



Q25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。



Q20～Q25で「どちらとも言えない」「いいえ」があった場合、改善のため工夫していること、今後工夫すべきことはあるか。また「はい」だとしたらどのようなことを工夫しているか。（2件の回答）

・Q24.地域交流の機会の提供については、今後より多くの機会を設けるために工夫を行っていく。

・Q24、4つの基本活動のうちの、地域交流の機会の提供は出来ていたが改善の余地あり

Q26 相談支援事業所とのサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解したものが参画しているか。



Q27 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。



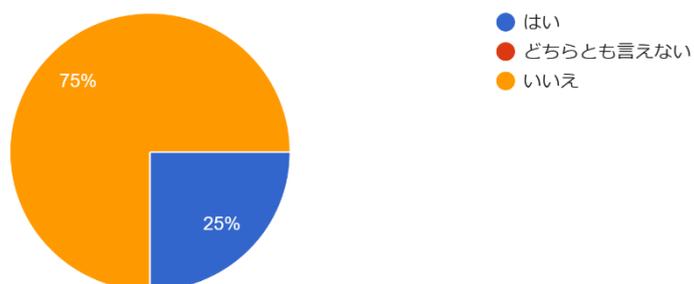
Q28 学校との情報共有や連携等を適切に行っているか。



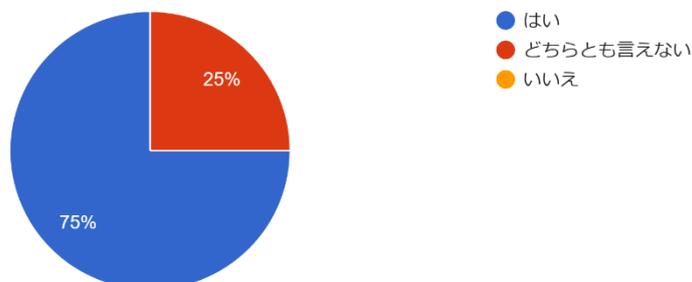
Q29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有や相互理解に努めているか。



Q30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所に移行する場合、それまでの支援内容等の情報共



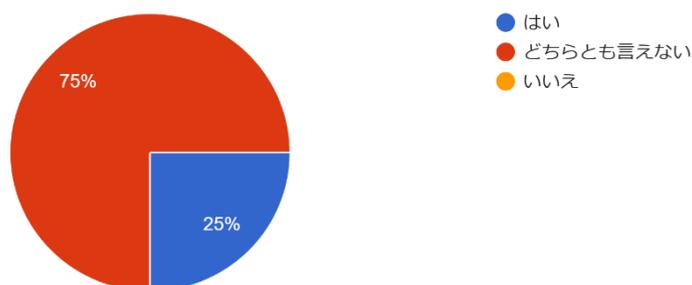
Q31 児童発達支援センターや発達障害者支援センター、他の放課後等デイサービスなどと連携し、必要に応じて助言や研修を受ける機会を設けているか。



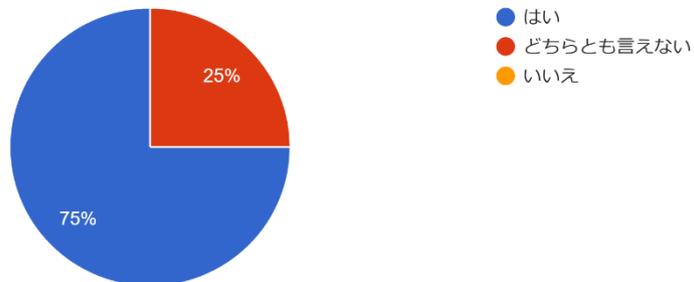
Q26～Q31 で「どちらとも言えない」「いいえ」があった場合、改善のため工夫していること、今後工夫すべきことはあるか。また「はい」だとしたらどのようなことを工夫しているか。（4件の回答）

- ・ Q29,30.今年度は該当者なし
- ・ Q29,Q30 について、そのような機会がなかったため実施していない。Q30 については、就労等に向けた支援機関に相談するなど、別の形で実施しているものはある。
- ・ Q29 は、対象の子がいなかったため。
- ・ Q29、Q30 は利用児童に該当者なし

Q32 放課後児童クラブ等の地域資源を活用し、地域の子ともと交流・活動する機会を作っているか。



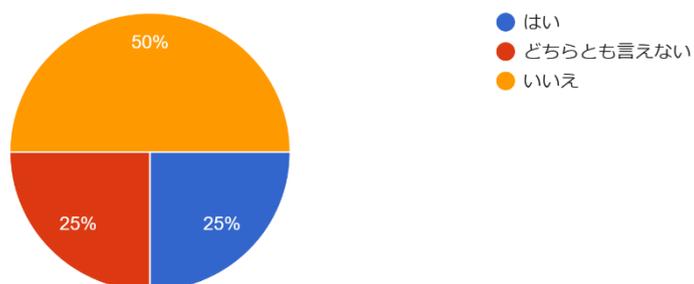
Q33 地域自立支援協議会に積極的に参加しているか。



Q34 日頃からこどもの状況を伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。



Q35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対しての家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行って



Q32～Q35 で「どちらとも言えない」「いいえ」があった場合、改善のため工夫していること、今後工夫すべきことはあるか。また「はい」だとしたらどのようなことを工夫しているか。（3件の回答）

・Q32.地域資源の活用はできていないが、機会を設けることはできているので、今後交流を増やすための工夫を行っていきたい。 Q35.今後は保護者に向けた家族支援プログラムや研修の機会等を設けていこうと考えている。

・Q32 地域資源の活用と意味では改善の余地がある。 Q35 ペアレントトレーニングは実施していないが、その知見を使って保護者等への面談等は行なっていることもある。このような質問だと、「どちらともいえない」となるが、家族支援は徹底して行なっていると自負している。

・Q32 は地域資源は活用しきれないが、交流の機会を提供はしています。 Q35 は今後保護者に向けた家族支援プログラムや研修の機会等を設けたいと企画しております

Q36 保護者に対し、運営規定、支援の内容、利用者負担について丁寧な説明を行っているか。



Q37 個別支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮などの観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。



Q38 個別支援計画を示しながら、保護者への支援内容の説明と同意を得ているか。



Q39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。



Q40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等によって、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。



Q36～Q40で「どちらとも言えない」「いいえ」があった場合、改善のため工夫していること、今後工夫すべきことはあるか。また「はい」だとしたらどのようなことを工夫しているか。（4件の回答）

- ・ Q40.今は行っていないが今後開催を検討している。
- ・ Q40 保護者会等の実施は本年度は行わなかった、次年度に向けて準備中。
- ・ Q40 保護者会は未実施だったため、今後行う体制を整えていく。
- ・ Q40 は今後保護者会を開くことを検討しております

Q41 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。



Q42 定期的に通信等を発行することや、HP や SNS 等を活用することにより、活動概要や活動予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。



Q43 個人情報の取り扱いに十分留意しているか。

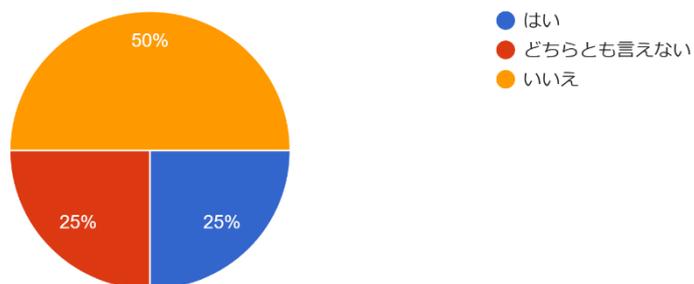
Q44 障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。



Q45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営をしているか。



Q45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営をしているか。
4件の回答



Q41～Q45で「どちらとも言えない」「いいえ」があった場合、改善のため工夫していること、今後工夫すべきことはあるか。また「はい」だとしたらどのようなことを工夫しているか。（3件の回答）

・Q45.来年度に検討している行事の中で、地域に開かれた活動を取り入れることができるように工夫したいと思う。

・Q45 当法人が実施するコミュニティカフェによって、地域社会にも開かれた運営を意識しているが十分に開かれているとは言えず、改善の余地がある。

・Q45 は来年度に開こうと考えている行事の中で、地域に開かれた活動になるように検討しております。

Q46 事故防止・緊急時対応・防犯・感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知し、訓練や研修等を行なっているか。



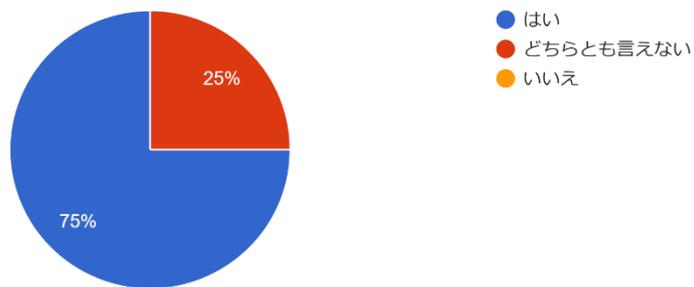
Q47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に必要な訓練を行なっているか。



Q48 契約時やイベント時、事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。



Q49 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか。



Q50 安全計画を策定し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分にされた中で支援が行われているか。



Q51 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう安全計画に基づく
取り組み内容について、家族等へ周知しているか。



Q52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をして
いるか。



Q53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている
か。



Q54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。

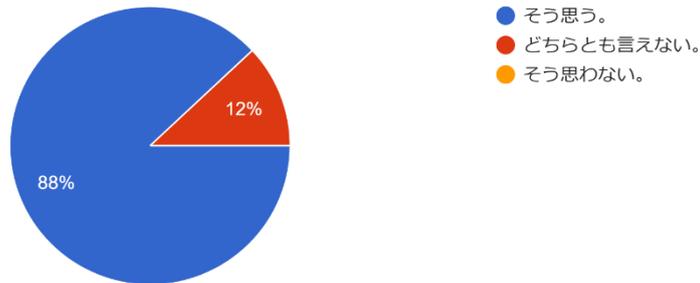


Q46～Q54で「どちらとも言えない」「いいえ」があった場合、改善のため工夫していること、今後工夫すべきことはあるか。また「はい」だとしたらどのようなことを工夫しているか。（1件の回廊）

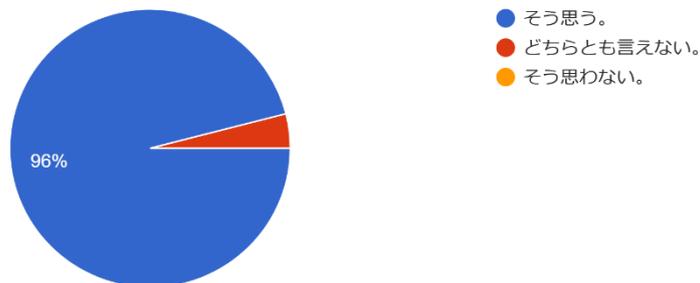
・Q49 アレルギーの確認と注意事項は保護者よりしているが、医師の指示書が必ずしもあるわけではない。

2024 年度 えりく3 保護者アンケート
(2025 年 2 月実施)

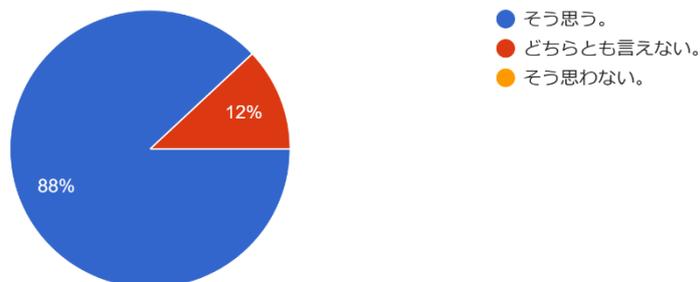
Q1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。



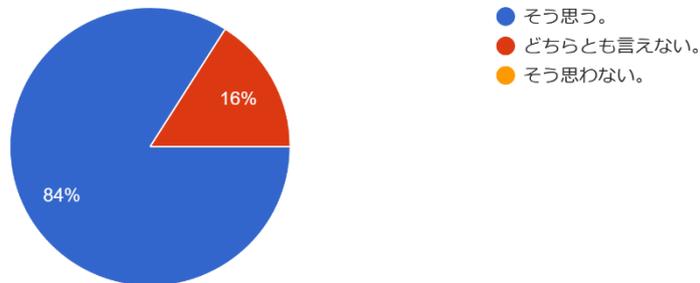
Q2 子どもの人数に対して、職員は十分配置されていると思いますか。



Q3 活動空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、子どもの特性に応じた配慮が適切になされていると思いますか。



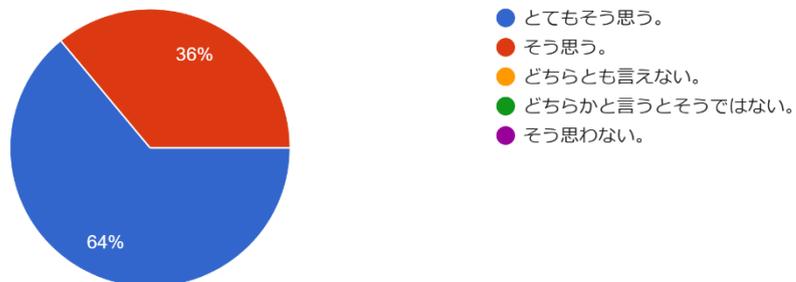
Q4 活動空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。



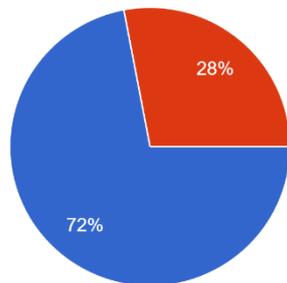
Q1～Q4 で何かご意見等あればお願いします。(2 件回答)

- ・子供たちの能力に合わせて指導して下さる指導員さんに感謝しかありません
- ・体を動かすには狭いと思います。

Q5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性に応じた支援が受けられていると思いますか。

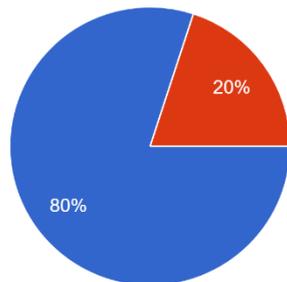


Q6 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されていると思いますか。



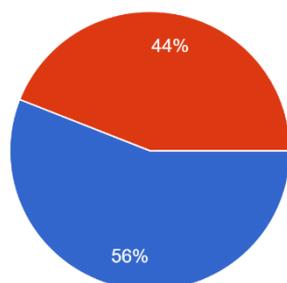
- とてもそう思う。
- そう思う。
- どちらとも言えない。
- どちらかと言うとそうではない。
- そう思わない。

Q7 個別支援計画には、本人への支援、家族への支援等について必要な支援内容や支援目標が適切に設定されていると思いますか。



- とてもそう思う。
- そう思う。
- どちらとも言えない。
- どちらかと言うとそうではない。
- そう思わない。
- わからない。

Q8 個別支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。

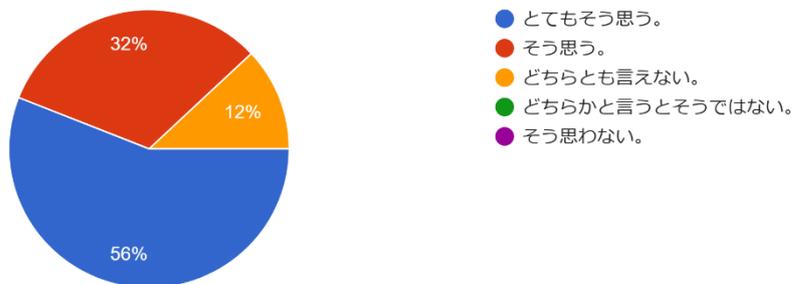


- とてもそう思う。
- そう思う。
- どちらとも言えない。
- どちらかと言うとそうではない。
- そう思わない。

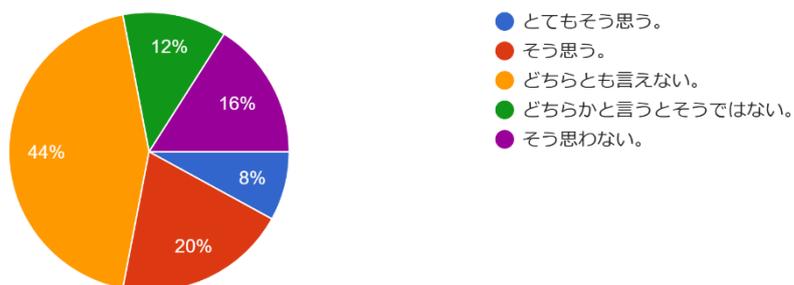
Q5-8 についてご意見があればお願いします。(4 件回答)

- ・1 人の我が子には課題が多すぎて指導員も戸惑っていたと思います
- ・古い掲示物やプリントがいつまでも置かれていたり、子供達のカバンや荷物が床に乱雑に置いてあるなど。自分の荷物もきちんと整理整頓出来るように、来所した際には個別の棚などに入れる事が出来たらなお良い。
- ・いつも細やかな分析と対応に感謝しています。まだまだ目標とするところまでの道のりは長いかもしれませんが、引き続きよろしくお願いします。
- ・感謝しかないです。

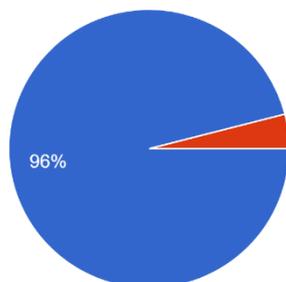
Q9 えりくの活動内容が固定化されないように工夫されていると思いますか。



Q10 児童館との交流や地域の子どもと活動する機会がありますか。

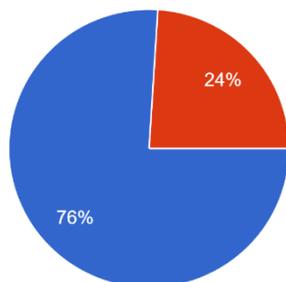


Q11 えりくを利用する際に、運営規定や支援内容、利用者負担について丁寧な説明がありましたか。



- そう思う。
- どちらとも言えない。
- そう思わない。

Q12 個別支援計画の説明の際、計画内容に沿った支援内容の説明がありましたか。

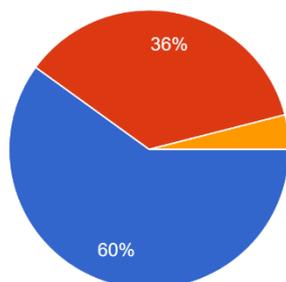


- とてもそう思う。
- そう思う。
- どちらとも言えない。
- どちらかと言うとそうではない。
- そう思わない。

Q9-Q12 について、ご意見等ありましたらお願いします。(1 件回答)

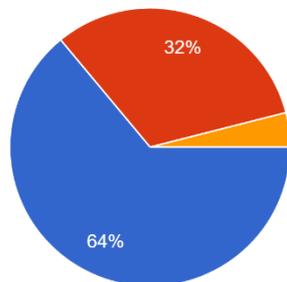
・Q10 は我が子が利用していないだけで、わからない為、どちらともいえないと回答

Q13 えりくから家族への相談支援の提供や、家族等も参加できる研修や情報提供の機会がありますか。



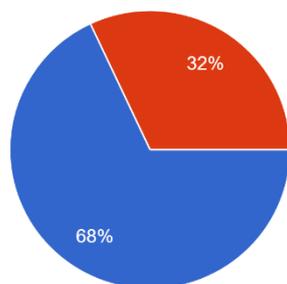
- とてもそう思う。
- そう思う。
- どちらとも言えない。
- どちらかと言うとそうではない。
- そう思わない。

Q14 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。



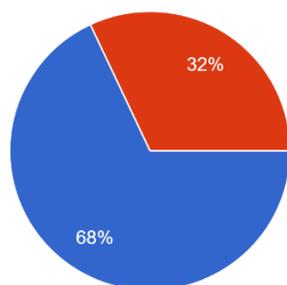
- とてもそう思う。
- そう思う。
- どちらとも言えない。
- どちらかと言うとそうではない。
- そう思わない。

Q15 定期的に面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。



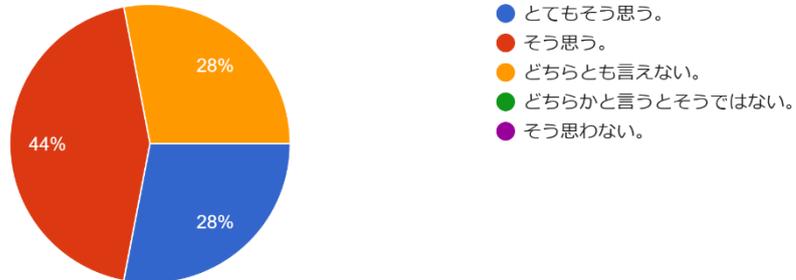
- とてもそう思う。
- そう思う。
- どちらとも言えない。
- どちらかと言うとそうではない。
- そう思わない。

Q16 事業所の職員から共感的な支援をされていると思いますか。

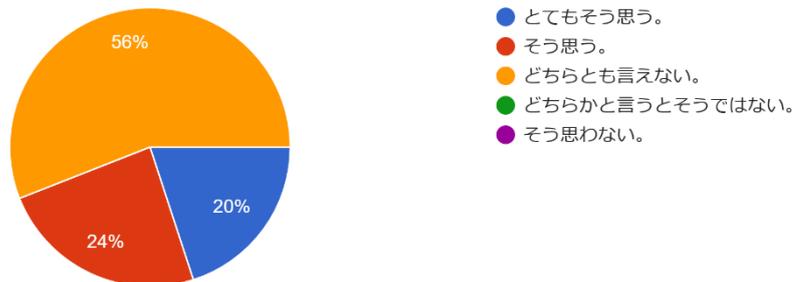


- とてもそう思う。
- そう思う。
- どちらとも言えない。
- どちらかと言うとそうではない。
- そう思わない。

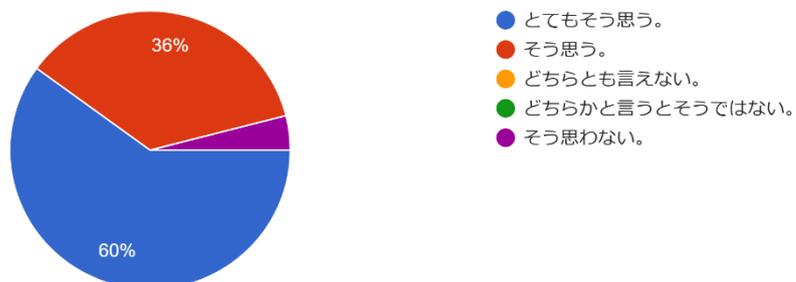
Q17 保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会を設けられることでの家族への支援はなされていますか。



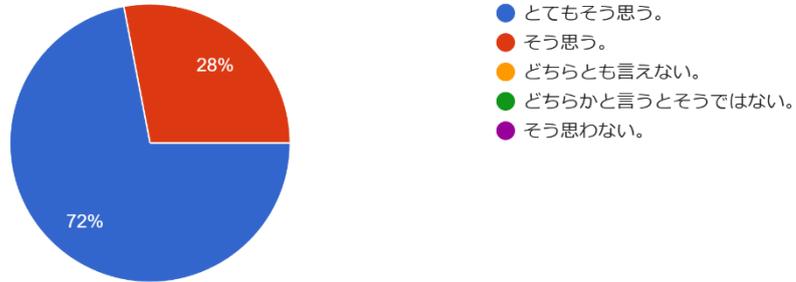
Q18 きょうだい同士の関係が円滑にいくような助言や、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がなされていますか。



Q19 子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることを、周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。



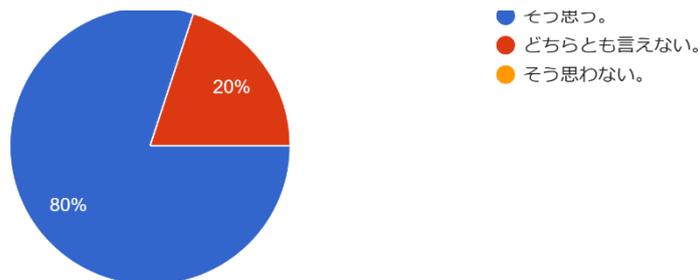
Q20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。



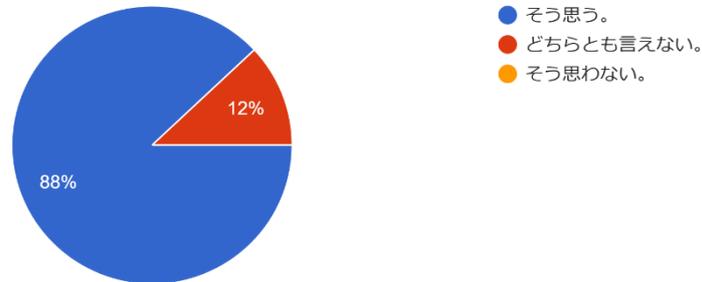
Q13-Q20 は家族支援がテーマですが、ご家族支援等についてご意見や改善点等があればお願いします。(1件回答)

・Q18については、兄弟の利用をしていない為わかりませんでした。支援に関して言えば、うちは子供と同じくらい家族支援もしていただいているような気がしています。本当に支えていただき感謝しかありません。ありがとうございます！

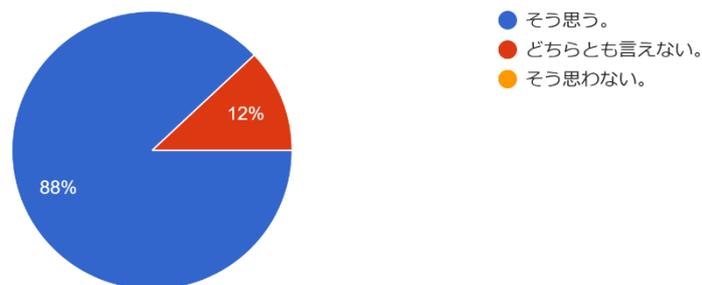
Q21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関することを子どもや保護者に対して発信されていますか。



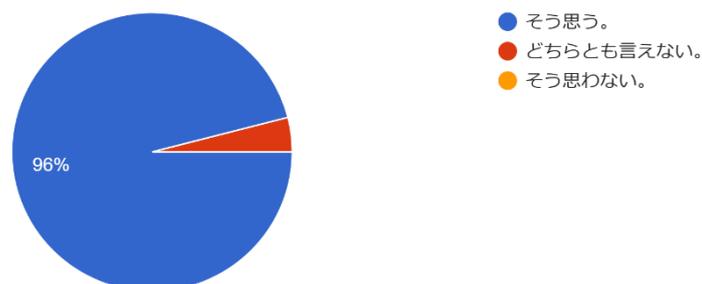
Q22 個人情報の取り扱いについて十分に留意されていると思いますか。



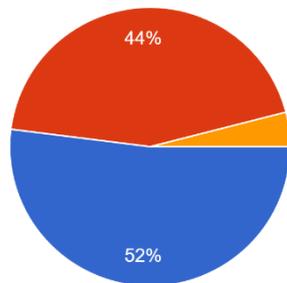
Q23 事業所では、安全対策マニュアル・緊急時対応マニュアル・感染症マニュアル等が策定され、保護者に周知・策定されていますか。



Q24 災害時に備え、定期的に避難訓練等が行われていますか。

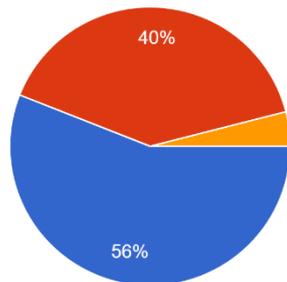


Q25 事業所から子どもの安全を確保するための計画について周知され、安全の確保が十分にされた上で支援が行われていると思いますか。



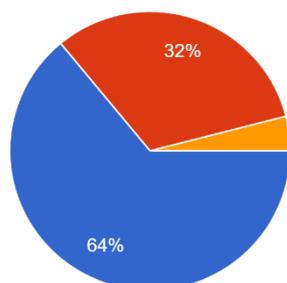
- とてもそう思う。
- そう思う。
- どちらとも言えない。
- どちらかと言うとそうではない。
- そう思わない。

Q26 怪我や事故等が発生した時に、事業所から速やかな連絡や状況についての説明がされていると思いますか。



- とてもそう思う。
- そう思う。
- どちらとも言えない。
- どちらかと言うとそうではない。
- そう思わない。

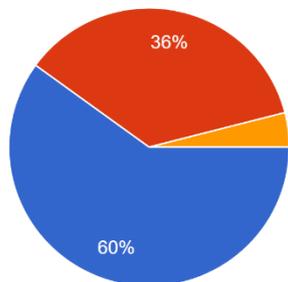
Q27 子どもは安心感をもって通所していますか。



- とてもそう思う。
- そう思う。
- どちらとも言えない。
- どちらかと言うとそうではない。
- そう思わない。

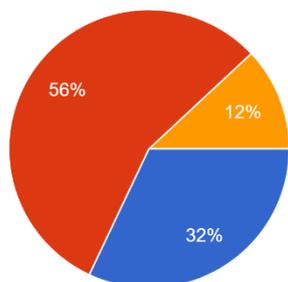
Q21-26 について、ご意見や不明点があればご記載ください。(0 件回答)

Q28 子どもは職員を信頼していると思いますか。



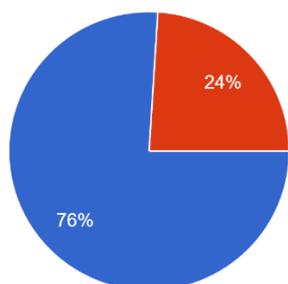
- とてもそう思う。
- そう思う。
- どちらとも言えない。
- どちらかと言うとそうではない。
- そう思わない。

Q29 子どもは通所を楽しみにしていますか。



- とてもそう思う。
- そう思う。
- どちらとも言えない。
- どちらかと言うとそうではない。
- そう思わない。

Q30 えりくの支援に満足していますか。



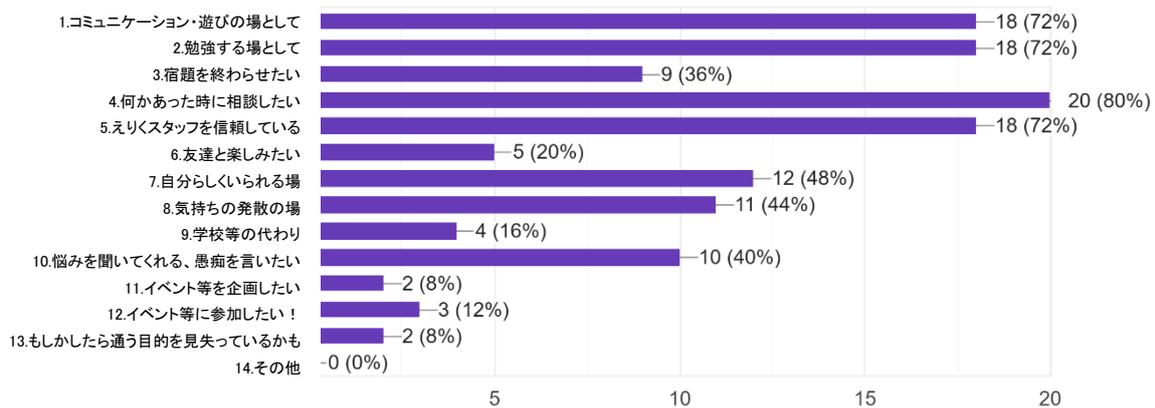
- とてもそう思う。
- そう思う。
- どちらとも言えない。
- どちらかと言うとそうではない。
- そう思わない。

Q27-30は「えりくの支援について」のご家庭の満足度と関わるのですが、それについて、ご意見や改善点があればお願いします。(2件回答)

・子供が安心して通えていることに感謝しています。コミュニケーション下手ですが、本当は多くの人と関わりたいと思っているようなので、そういうことも安心してできるようになることを願っています。

・親という立場ゆえ、冷静になれない時が多々あります。そんな時に冷静に聞いてくださり、どんな時も子供のためにどう向き合っていけばいいかをいつも一緒に考えてくださります。子供の特性をよく理解してくださっていることが大前提で向き合ってくださいるので、安心感がとても大きく助けられています。

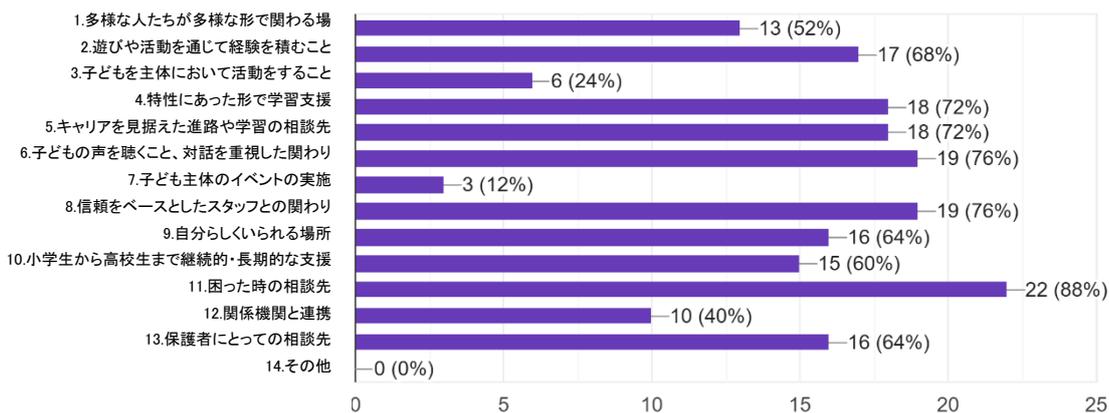
Q31 保護者のみなさまからみてお子さまがえりくに通う目的はなんだと思いますか。(複数選択可)



Q32 上記にチェックした理由を教えてください。(10件の回答)

- ・居場所にとっていたが最近では年齢的な(思春期)事もあり、ひとりの時間も持ちたい気持ちがある様子
- ・親や学校の先生以外の大人と関われる大切な場。子ども同士では学べないことが学べる。
- ・本人がスタッフを信頼して、安心して通っているように思うため
- ・えりくの日では自分で把握して早く行きたがります。
- ・えりくやえりくのスタッフを信頼している様子があるから。イベント等に積極的に参加しているから
- ・自分1人ではなかなかうまくいかない勉強を、スタッフの方々がいてくれることで気持ちを繋ぐことができ頑張っています。また、部活や学校など大変な部分があったとしても、話を聞いてもらうことで自分のペースをなるべく乱さずに生活できていると思います。
- ・子供から利用時の話を聞いてそう思います。
- ・普通の塾より子供に合った勉強の指導をしてもらえそう
- ・どうしてえりくに通っているのか聞かれたことがあるため
- ・目的が明確だと頑張るけれど、目的が達成されるとめんどくさいが先行して行かないという選択肢を選ぶことがあります。

Q33 えりくでは以下のことに力を入れています。期待しているところはなんですか。(複数選択可)



Q35 えりくのスタッフにメッセージがあれば、ぜひお願いします。日々の活動の力になります。

(19 件の回答)

・いつもお世話になっております。特性を理解して頂き個々にあった対応をして頂いていた事に感謝しております。個別支援計画での面談でゆっくりお話を聞いて頂き気持ちが軽くなりました(愚痴を吐いて申し訳ありません) 今後もよろしくお願い致します。

・子どもたちが当たり前のように学習面や交流の場として通えていることがありがたいです。いつも本当にありがとうございます。

・えりくの皆様にお力をいただいて、とても助かっています。ありがとうございます。

・いつも真剣に我が子達を見守ってくださり必要な情報を探してくださったり 寄り添って頂き感謝しかありません

・いつもありがとうございます。いつも子どもを中心に考えてくださっているという信頼があるから安心して利用しています。これからも唯一無二の居場所として利用させていただきたいです。今後ともよろしくお願い致します。

・いつもありがとうございます。えりくのおかげもあり毎日楽しく過ごせています！

・いつもありがとうございます。本人の気持ちを聞いてくださり、それを保護者にも教えていただき、とても感謝しております。

・今後ともよろしくお願いします。

・毎週えりくの日、早く行きたい！と張り切っています。いつも子供だけではなく、保護者の相談や、悩みなども聞いてくれて有り難いです。これからもよろしくお願いします。

・いつもありがとうございます。相談にのっていただいたり、ご提案いただき大変感謝しています。

・いつもお世話になっております。高校生になり、本人がよく考えて行動するようになってきたと思います。友達との関係も少しずつ、自分の言葉を出せているように感じます。そのようなことは長い間に繰り返しご指導頂いている結果だと思っております。ありがとうございます。本人が自立して生活していけるよう、今後ともご指導よろしく願いいたします。

・いつもありがとうございます。大変なお仕事と思いますが真摯に取り組んでくださっているのが伝わります。

・いつも子供の話をきちんと聞いてくださりありがとうございます。

・いつも落合さんや河西さんのアドバイスに感謝しております。とても頼りにしています。ありがとうございます。

・いつも我が子の支援に携わっていただきありがとうございます。

今後ともよろしくお願い致します。

・いつもありがとうございます

・いつも細やかに丁寧に対応をしてくださり本当にありがとうございます。親の立場からも色々なことが話せる安心感があってとても助かっています。今後ともよろしく願いいたします！

・えりく3に5年間通わせていただいています。えりくという場所、スタッフの皆様が居なかったら…と思うとゾッとします。当の本人が、えりくに通う本当の意味に気付いたのはここ最近なんじゃないかと思います。でもどんな時も変わらずに親身になって向き合ってくださったスタッフの皆さんに少しずつ信頼して心を開くことが出来たなと感じます。親や学校の先生ではなく第3の場所として相談できる信頼できる大人が身近に居てくれることは何よりの支えです！本人よりも親の私の方がえりくの皆さんが大好きだと思います(笑)いつも本当にありがとうございます！！これからも温かい雰囲気のでいてください。

・いつも真摯に向き合って頂き、感謝しております。